

プロジェクター

FP-ZUH6000-B
FP-ZUH6000-W

使用説明書



詳細説明書

はじめに

- ▶ 安全上のご注意
- ▶ 同梱物

このプロジェクターの概要

- ▶ 各部名称と機能
- ▶ リモコン
- ▶ 基本的な使い方

設置

- ▶ 設置概要
- ▶ 投写状態の調整
- ▶ 各機器との接続

操作メニュー

- ▶ メニュー一覧
- ▶ メニューの使い方
- ▶ 表示

- ▶ [ピクチャー](#)
- ▶ [入力](#)
- ▶ [システム設定：基本](#)
- ▶ [システム設定：詳細](#)
- ▶ [ステータス](#)

資料

- ▶ [主な仕様](#)
 - ▶ [対応解像度一覧](#)
 - ▶ [投写距離一覧](#)
 - ▶ [幾何学歪補正範囲](#)
 - ▶ [PJLinkコマンド](#)
 - ▶ [プロジェクター制御](#)
 - ▶ [Web制御](#)
 - ▶ [商標](#)
-

安全上のご注意

- ▼ [安全にお使いいただくために](#)
- ▼ [レーザー製品を安全にお使いいただくために](#)

安全にお使いいただくために

文章中の **⚠ 警告** や **⚠ 注意** は次のことを表しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示します。

ここでは、製品を安全に正しくご使用いただくために、重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前に読み、記載内容に従って正しくご使用ください。

⚠ 警告

- ・ 設置・取り付け・締め付けは確実に行ってください。高所使用時の落下は重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ 天井への取り付け (天吊り設置) 工事は、特別な技術をもった専門業者にて実施してください。正しく工事が行われないと、落下による重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ 高所作業を行うときは、必ず2名以上で作業を行うとともに、命綱を用いるなどして身体の安全を確保してください。バランスをくずしたりすると重大な事故につながる原因になります。
- ・ 本機を高所へ取り付けるときは、取り付け場所の下にいる人を作業範囲外へ遠ざけてください。落下物が人に当たると、重大な事故の原因になります。
- ・ 風呂、シャワー室では使用、設置しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因になります。
- ・ 電源ケーブルの上に重いものを載せたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしないでください。ケーブルに傷がついて、火災・感電の原因になります。ケーブルに傷がついた場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。また排気口、吸気口の近くにケーブルを置かないでください。
- ・ 一度端子部分が曲がってしまったコネクターは使用しないでください。

- 不安定な場所に設置しないでください。必ず水平な場所に設置してください。バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。
- 雷が鳴りだしたら金属部分に触れないでください。落雷すると誘電雷により感電の原因になります。
- 本機の上に薬品や水の入ったものなどを置かないでください。水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。
- 電源をオンにしたあとは、絶対にレンズを覗かないでください。強い光で、視力障害などの原因になります。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズを覗かないでください。
- 燃えやすいもの、金属類、異物等を本機に差し込んだり近くに放置したりしないでください。火災、感電、やけどの原因になります。
- 本機のレンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性のガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災の原因になることがあります。
- 本機を可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。引火による火災の原因になることがあります。
- 燃えやすいものを、本機のレンズの前に置かないでください。火災の原因になることがあります。
- 本機は接地する必要があります。
- 投写中に本や布などで投写光をさえぎらないでください。投写光をさえぎると投写光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になったりします。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因になります。
- 電源をオンにしたあとや、電源を待機状態（スタンバイ）にした直後は、本機のレンズや金属部分に触れないでください。やけどの原因になります。
- 本機を持ち上げる際は、落とさないように注意してください。
- 異常が起きたら電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源ケーブルを外してください。煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電や視力障害の原因になります。
- 付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。付属以外の電源ケーブルを使用すると、ショートや発熱により感電・火災の原因になることがあります。また付属の電源ケーブルを使い、コンセント側でアースをとらないと感電の原因になることがあります。

注意

- 本書に記載された機能以外の目的で、本機を使用しないでください。
- 本機およびその付属品は精密機械です。決して強い衝撃を与えないでください。
- 本機を長期間使用しないときは、レンズにレンズキャップを取り付けてください。
- レンズ部は可動式となっているため、衝撃や無理な力を加えないでください。
- 湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所、熱の発生する場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクター本体の樹脂が劣化し、本体取付部が破損または破損により本体落下するおそれがあります。
- 異常な高温になる場所や直射日光が当たる場所には置かないでください。火災の原因になることがあります。
- 本機または電池の入ったリモコンを、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。
- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてケガの原因になることがあります。
- 電源プラグが傷んでいるときやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災・感電の原因になることがあります。

- 投写中は手や顔を排気口に近付けたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置いたりしないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因になります。
- 本機を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化等により火災の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合やお手入れの際は、必ず電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源プラグをコンセントから外し、すべての配線を外してから行ってください。火災・感電の原因になることがあります。
- お手入れの際は、濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。水が中に入ったり、ケースが劣化し割れるなどしたりして、感電の原因になります。
- 本機の内部にホコリがたまり、火災や故障の原因になることがあります。定期的な内部点検・清掃をおすすめします。その際は、お買い上げ店にご依頼ください。
- レンズ部を持って、本機を持ち上げないでください。故障の原因になります。
- 高地（標高約1500 m以上）でご使用になるときは、高地対応モードを「On」に設定して本機の内部温度が適切に調整されるようにしてください。部品の寿命に影響を及ぼす可能性があります。
- 異常が起きたら電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源ケーブル、USBケーブルを外してください。煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電や視力障害の原因になります。お買い上げ店にご相談ください。
- 内部に水や異物を落とさないでください。水・異物が内部に入ったら、電源を待機状態（スタンバイにして）、電源プラグをコンセントから外してください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。お買い上げ店にご相談ください。
- 分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）でください。火災・感電の原因になります。
- 小さな付属品は乳幼児やペットに触れさせないでください。リモコンから取り外した電池や小さな付属品は、乳幼児やペットが誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ケーブル類は安全に配慮して配線してください。転倒やケガの原因になります。
- 振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。
- 電源を待機状態（スタンバイ）にした直後はレンズに触れないでください。やけどの原因になります。
- アースは確実に設置してください。
- 本製品に使用されているビニール袋を被ると窒息する恐れがあります。乳幼児や子供の手の届かない場所に保管してください。

使用・保管時の留意点

- 温度が高すぎる場所や、低すぎる場所では使用・保管をしないでください。また、急激な温度変化も避けてください。使用温度範囲、保管温度範囲を守って、使用・保管をしてください。
- 高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 本機を傾けて投写しないでください。故障や事故の原因になります。
- レンズを素手でさわらないでください。レンズ面に指紋や皮脂がつくと、きれいに投写できません。レンズが汚れたり、傷がついたりするのを防ぐため、本機を使用しないときは、レンズカバーを取り付けてください。
- 保管の際は、リモコンから電池を取り出しておいてください。長期間電池を入れたままにしておくと、液漏れなどを起こす原因になります。

- 油煙やたばこなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。
- 火災、地震、水害、落雷、などの天災地変や、公害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷は有償修理対象となります。
- レンズの汚れは、電源を待機状態（スタンバイ）にし、レンズや金属部分が冷えたことを確認のうえ、ゴミやホコリをブローで飛ばし、市販のきれいなメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- お手入れの際は、レンズが冷めてから行ってください。
- 運搬の際は本機の底面を持つようにしてください。投写レンズ部や投写レンズ周辺の開口部を持たないようにしてください。破損の原因になります。
- プロジェクターの天吊り固定部にネジ緩み止め接着剤・潤滑剤・油が付着すると本体の樹脂が劣化し、破損または落下するおそれがあります。
- 塩害が発生する場所や腐食性ガスが発生する場所では設置・保管しないでください。腐食による落下や故障の原因になることがあります。

レーザー製品を安全にお使いいただくために

本装置はIEC60825-1:2014のクラス1レーザー製品として定義されています。



IEC 60825-1:2014

クラス1レーザー製品

- 本製品はEN60825-1:2014+A11:2021に準拠しています。
- IEC 62471-5:Ed1.0に定義されているリスクグループ2 LIPとしての適合性を除き、21 CFR 1040.10および1040.11に準拠しています。1.0.詳細については、2019年5月8日付のレーザー通知第57号を参照してください。
- 本製品は業務向けであり、壁や画面に画像を投写するように設計されています。

次の警告と注意を必ず遵守してください。

⚠ 警告

- 内部に高出力レーザー製品が組み込まれていますので、本機のケースを開けないでください。
- このプロジェクターには、クラス4レーザーモジュールが組み込まれています。分解または改造する行為は非常に危険であるため、決して試みないでください。
- 強い光が視力障害などの原因になりますので、本機の光源を直接見ないでください。万一レンズを覗いた場合、必要に応じて医師にご相談ください。
- 本機を改造したり分解したりしないでください。高電圧により火災を起こしたり感電したりする危険があります。

⚠ 注意

- 本機を廃棄する場合は、国や地域の廃棄ルールに従って、分解しないで廃棄してください。
- 指定されている以外の制御、調整、または手順を実行すると、危険な放射線にさらされる可能性があります。
- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。

Lens RG2



注意：高温な表面には触れないでください

- ・ プロジェクターの動作中は、プロジェクターのレンズの前に手、顔、その他の物を置かないでください。対象物が極度に熱くなり、光出力から放出される熱によって火災や損傷が発生する可能性があります。レンズの前に置かれたものが過熱して燃えたり、火災の原因となる可能性があります。
- ・ レンズに溜まったほこりや汚れを取り除くために可燃性ガスを噴霧しないでください。火災の原因となる可能性があります。

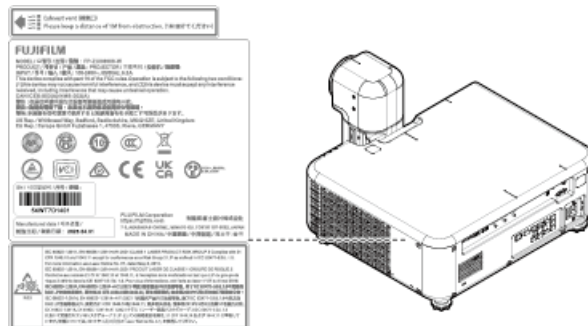
レーザーについて

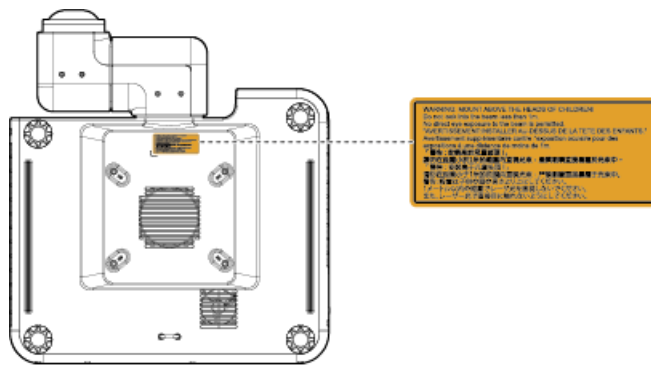
本機の光源はレーザーを使用しており、以下のような特性があります。

- ・ 使用環境によって、光源の輝度が低下します。
- ・ 温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- ・ 使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。
- ・ 使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。
- ・ 危険なレーザー光線にさらされることがあるため、点検、調整および修理作業は、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
- ・ 本機にはレーザーモジュールが内蔵されています。取扱説明書に記載されている手順にしたがって操作および調整を行ってください。
- ・ 電源を入れる前に、必ずレンズキャップを外してください。プロジェクターの電源とレーザー光源がオンの時にレンズキャップをつけたままにするとレンズキャップが破損します。
- ・ 子供が離れた場所からプロジェクターの光源を見つめないようにご注意ください。
- ・ プロジェクターの起動時にプロジェクターのレンズの前に人が居ないようにしてください。
- ・ 投写するときに、双眼鏡や望遠鏡などの光学補助具を使わないでください。

レーザー警告ラベル

レーザー警告ラベルは製品の底面/側面に貼られています。





格付けラベル

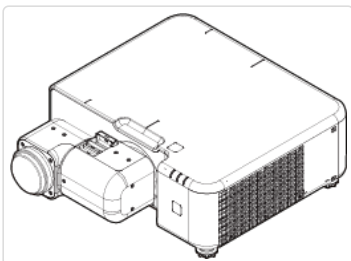
「製品の側面に貼られている製品ラベル (格付けラベル)。」

レーザー光源の仕様

■ FP-ZUH6000-B、FP-ZUH6000-W

- 波長：455nm
- 最大出力：228W

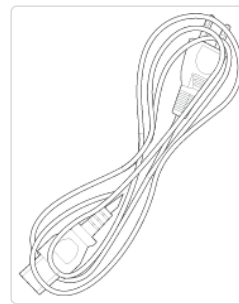
同梱物



プロジェクター本体
(上図は収納時の状態)



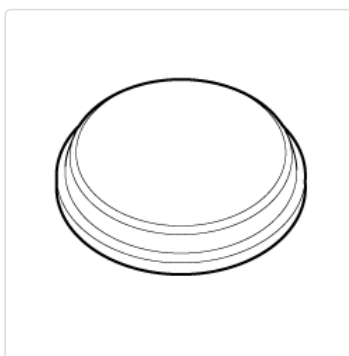
リモコン、単4型乾電池 (2個)



電源ケーブル (3.0 m)

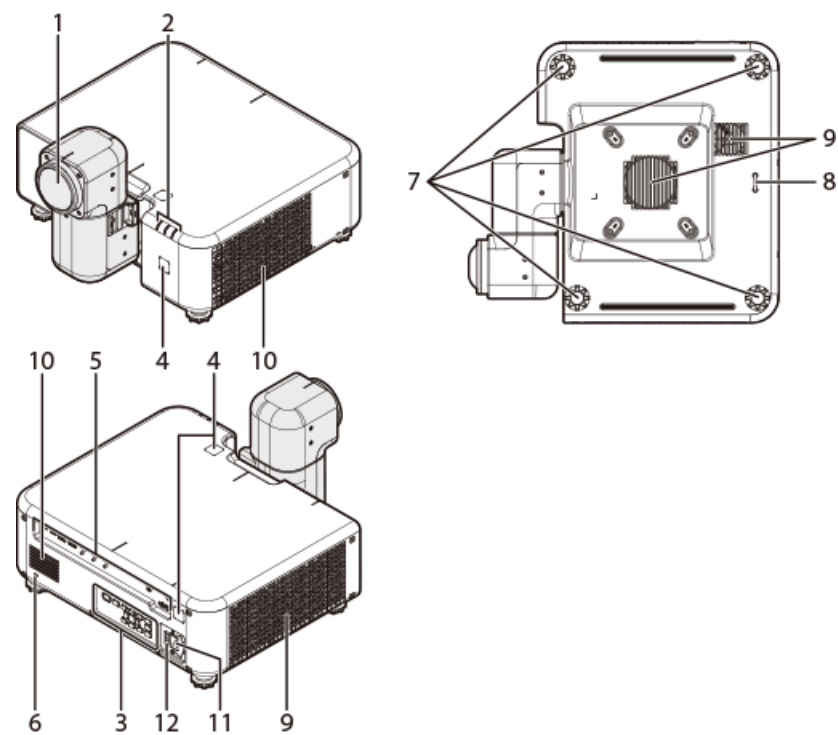


簡易説明書



レンズキャップ

Parts of the Projector: Names and Functions



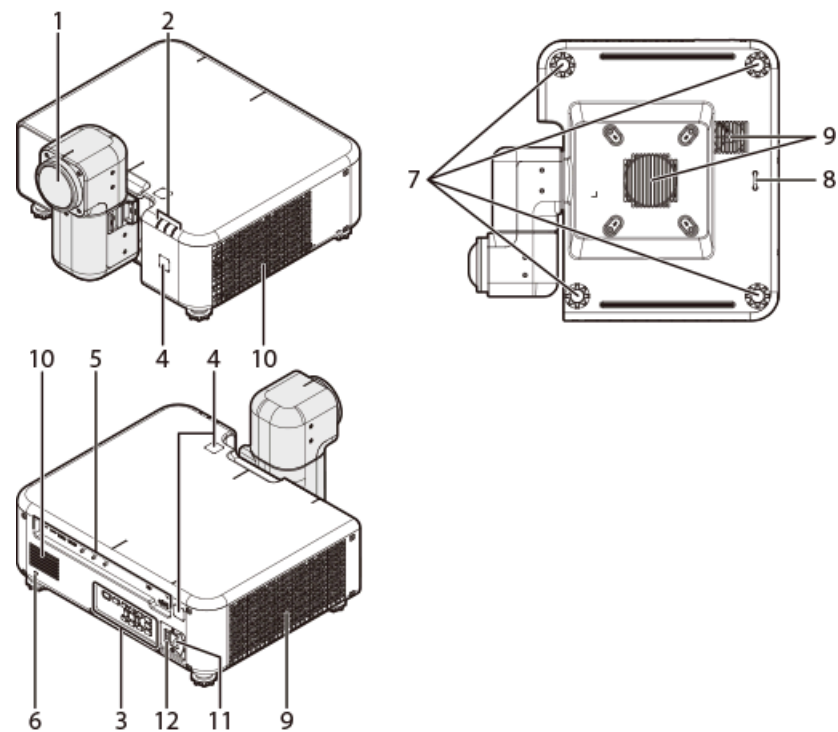
Item	Name
1	Lens
2	Indicator Lamps
3	Control panel
4	Remote receiver
5	Interface (connector) panel
6	Security slot *

Item	Name
7	Adjustable feet
8	Security lock
9	Intake vents
10	Exhaust vent
11	Power connector
12	Main power

* Compatible with Kensington MicroSaver security system locks.

- ▼ [Control panel](#)
- ▼ [Rotating the Lens](#)

各部名称と機能



No.	名称
1	レンズ
2	インジケータランプ
3	操作パネル
4	リモコン受光部
5	接続端子部
6	セキュリティスロット*

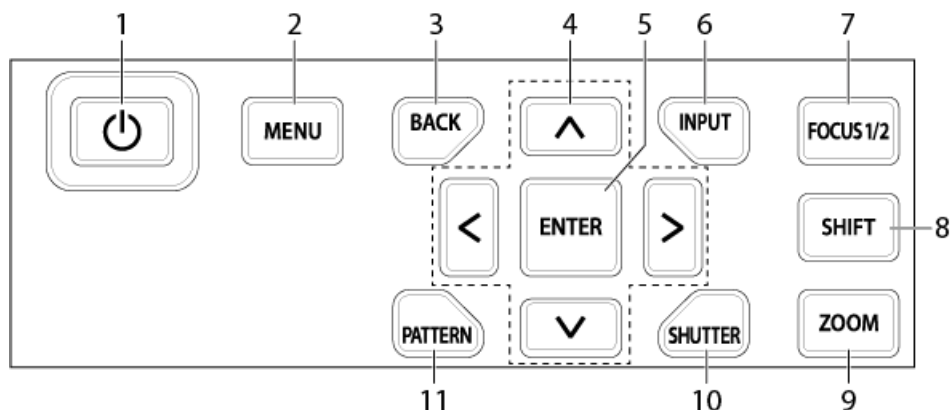
No.	名称
7	調整脚
8	セキュリティバー
9	吸気口
10	排気口
11	電源端子
12	主電源

* Kensington社製のマイクロサーバー・セキュリティシステム対応のセキュリティスロットです。

- ▼ [操作パネル](#)
- ▼ [ロックレバー](#)
- ▼ [接続端子部](#)

操作パネル

本体の操作パネルで本機を操作します。操作パネルの各ボタンの名称と機能は以下のようになります。



No.	ボタン名称	機能
1	(電源)	本機の電源をオン/待機状態 (スタンバイ) にします。
2	MENU	各種設定・調整用のメニュー画面を表示します。
3	BACK	メニュー操作時に一つ前のメニュー階層に戻ります。
4	▲▼◀▶ (セレクトー)	メニュー操作時に使用します。
5	ENTER	メニュー操作で選択した選択項目を決定します。
6	INPUT	入力機器を切り替えます。
7	FOCUS1/2	FOCUS1/2を切換えて、フォーカスを調整します。
8	SHIFT	レンズシフトを調節します。
9	ZOOM	レンズズームを調節します。
10	SHUTTER	映像と音声を一時的に消します。再度ボタンを押すと投写します。
11	TEST PATTERN	テストパターンを表示し、◀▶ キーでパターンを切り替えます。

ロックレバー

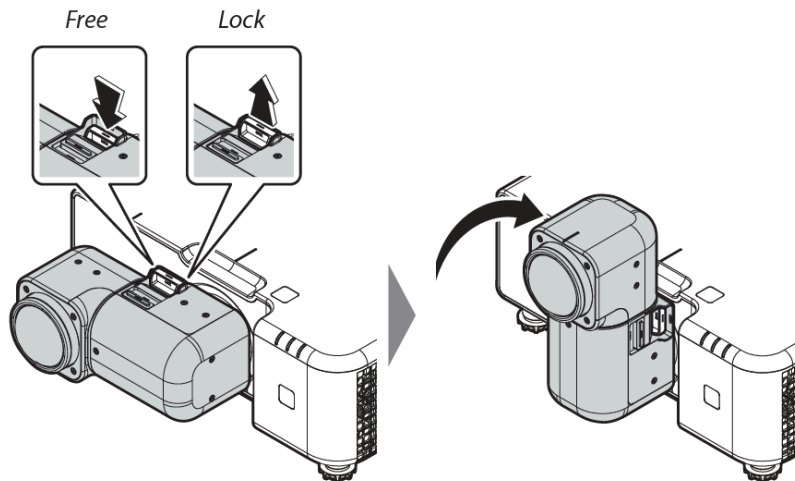
投写レンズ部は、回転式となっており、マウント軸、レンズ軸にそれぞれロック機構がついています。次の手順で回転させてください。また、投写時は、必ずロックをかけてください。

⚠ 注意

- 投写方向やレンズシフト調整によっては、映像がケラレる場合があります。
- レンズを回転させると前回のシフト位置に自動的に移動（画面が動く）します。レンズシフト中（画面が動いているとき）は、レンズを回転させないでください。
- レンズを回転するときは、レンズ部を支えてゆっくりと回転させてください。
- レンズの向きを変えるときは、周囲に十分注意してください。投写光が目に入ると、視力障害などの原因になることがあります。

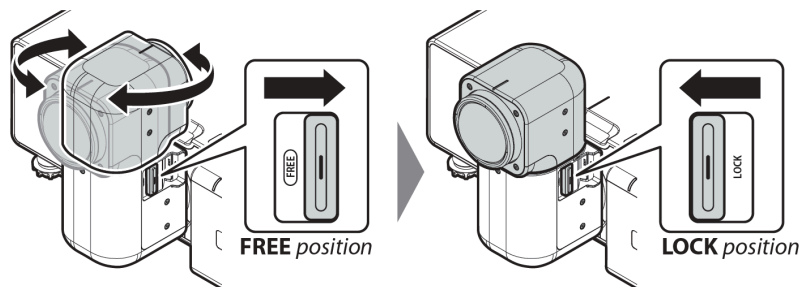
ロック解除—マウント軸ロックレバーによる回転

ロック解除-マウント軸ロックレバーを押してロックを解除すると、レンズマウント部を軸にして90°回転できます。ロックレバーを引くと、ロックがかかります。



ロック解除—レンズ軸ロックレバーによる回転

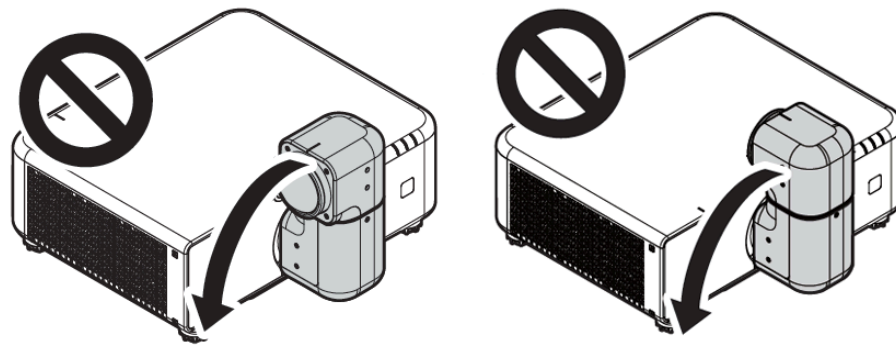
ロック解除-レンズ軸ロックレバーを **FREE** にスライドさせ、ロックを解除すると、レンズ部を軸にして、90°ずつ360°回転できます。



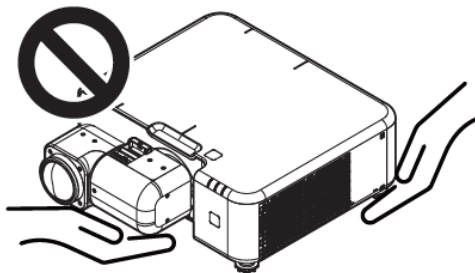
レンズ軸ロックレバーを **FREE** にするとレンズが回転でき、**LOCK** にするとロックがかかります。

⚠ 注意

レンズを下に向けたままの状態、レンズを収納位置に回転さないでください。レンズに傷や破損の恐れがあります。



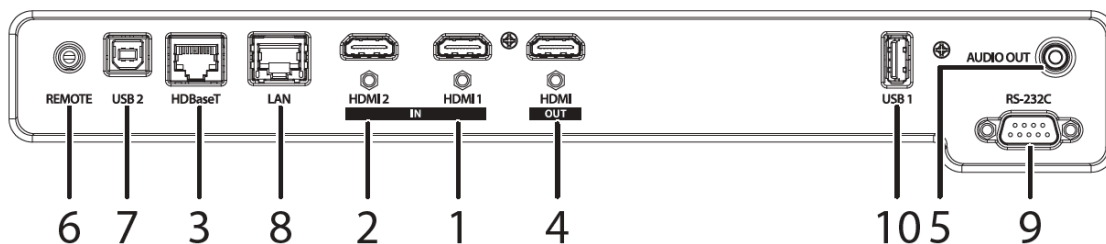
⚠ 注意：運搬の際は本機の底面を持つようにしてください。投写レンズ部や投写レンズ周辺の開口部を持たないようにしてください。破損の原因になります。



bメモ：全方位360°の設置に対応しています。

接続端子部

接続する機器に応じた接続端子にそれぞれのケーブルで接続します。



接続名称			機能
映像入力	1	HDMI 1	HDMI 2.0 (HDCP2.2 に対応、3840×2160 60P 入力に対応)
	2	HDMI 2	HDMI 2.0 (HDCP2.2 に対応、3840×2160 60P 入力に対応)
	3	HDBaseT	ビデオ/オーディオ/接続制御用 RJ-45 3840×2160 60P 入力に対応)
映像出力	4	HDMI出力	HDMI 出力 (HDCP 2.2)

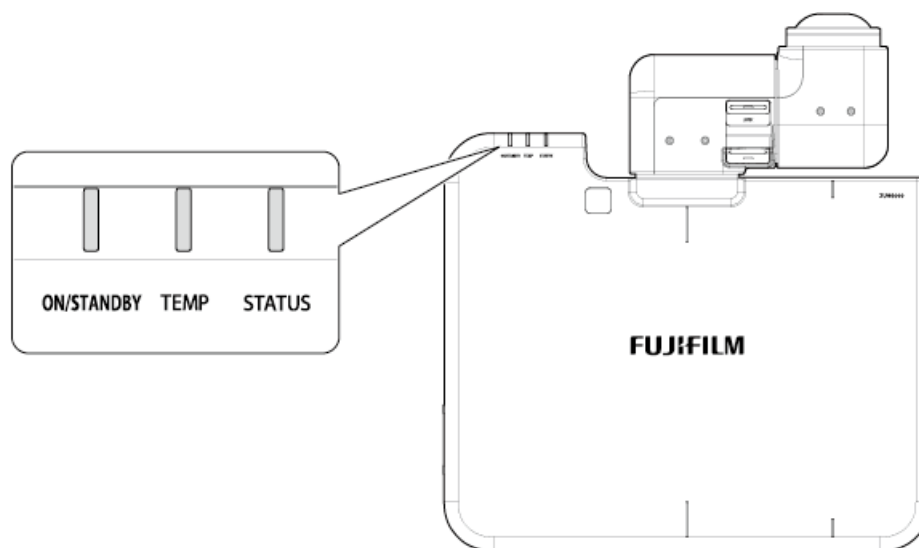
オーディオ出力	5	音声出力	3.5 mm ステレオミニジャック
制御入出力	6	リモート入力	3.5mmステレオミニジャック
	7	USB 2	メンテナンス用 TypeB
	3	HDBaseT	プロジェクター制御用 RJ-45
	8	LAN	ネットワーク接続用 RJ-45 (10Base-T/100Base-TX)
	9	RS-232	プロジェクター TypeA 制御用 D-Sub9 Pin
その他	10	USB 1 (電源 5V1.5A)	DC 5V 1.5A (最大)

⚠ 注意

- 接続するときは、本機や接続する機器の電源を待機状態 (スタンバイ) にしてください。すべての接続が終わったあとで、最初に本機の電源を入れ、接続した機器の電源をオンにします。
- 接続機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。

インジケータランプ

インジケータランプ (**ON/STANDBY**、**TEMP**、**STATUS**) の点灯/点滅/消灯で、プロジェクターの状態がわかります。



各インジケータランプとプロジェクターの状態は以下のようになります。

ランプ			プロジェクターの状態
ON/STANDBY	TEMP	STATUS	

●赤点灯	-	-	待機状態（スタンバイ）
●緑点滅 1	-	-	起動中
●緑点灯	-	-	電源オン
●赤点滅 1	-	-	待機状態（ネットワークスタンバイ）
-	●オレンジ点滅 1	-	シャットダウン中
●緑点灯	●緑点灯	-	シャッター機能 オン
-	●緑点滅 2	-	通信中
●オレンジ点滅 1	●オレンジ点滅 1	-	ファームウェアアップデート待機中
●赤点灯	●緑点灯	-	工場出荷状態にリセット
●緑点灯	●赤点滅 1	●オレンジ点滅 1	本体の温度上昇
●緑点滅 2	-	●オレンジ点滅 2	レーザー光源エラー
●緑点滅 2	●赤点滅 1	●オレンジ点滅 2	DMDエラー
-	-	●オレンジ点灯	ファン1エラー
-	-	●オレンジ点滅 1	ファン2エラー
-	-	●オレンジ点滅 2	ファン3エラー
●緑点灯	-	●オレンジ点灯	ファン4エラー
●緑点灯	-	●オレンジ点滅 1	ファン5エラー
●緑点灯	-	●オレンジ点滅 2	ファン6エラー
●緑点滅 1	-	●オレンジ点灯	ファン7エラー
-	●赤点灯	●オレンジ点灯	ファン8エラー
●緑点滅 1	-	●オレンジ点滅 1	フィルターホイールエラー
●緑点滅 1	-	●オレンジ点滅 2	蛍光体ホイールエラー
●オレンジ点灯	-	●オレンジ点灯	電源エラー

メモ

LEDインジケータは3つの点滅モードに対応しています。

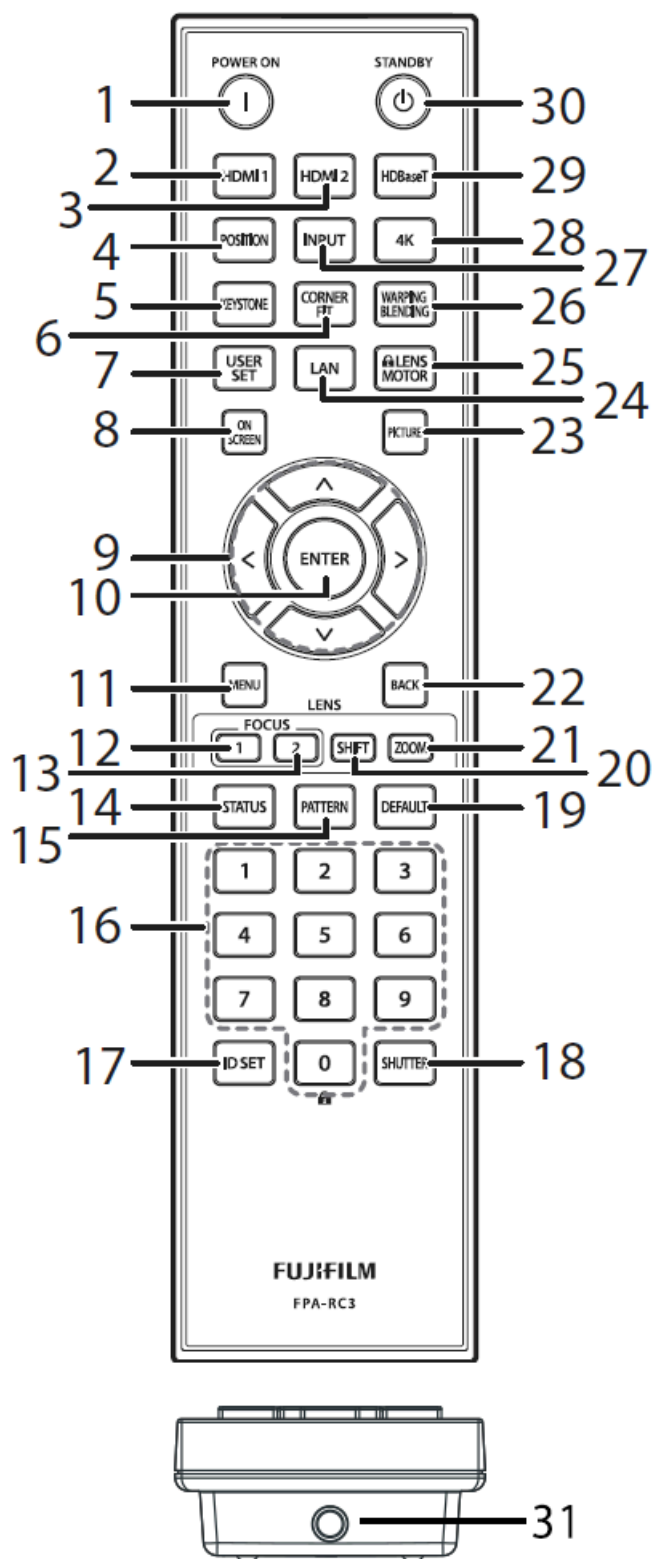
- 点滅 1：0.5秒に1回点滅します。
- 点滅 2：0.04秒に1回点滅します。
- エラーが発生した場合は、購入先にお問い合わせください。

リモコン

- ▼ リモコンのボタン名称と機能
- ▼ リモコン受光範囲
- ▼ IDナンバーの設定方法

リモコンのボタン名称と機能

リモコンの名称と機能は以下のようになります。



No.	ボタン名称	機能
1	POWER ON	本機の電源をオンにします。
2	HDMI1	HDMI 1を選択します。
3	HDMI2	HDMI 2を選択します。
4	POSITION	プロジェクターの投写位置を選択します。

5	KEYSTONE	台形歪補正を調整します。
6	CORNER FIT	映像の四隅を個々に調整します。
7	USER SET	ユーザー設定メニューに入ります。
8	ON SCREEN	メニュー表示をオフにします。再度ボタンを押すとメニュー表示をオンにします。
9	 (セレクト)	メニュー操作時に使用します。
10	ENTER	メニュー操作で選択した選択項目を決定します。
11	MENU	各種設定・調整用のメニュー画面を表示します。
12	FOCUS1	レンズ調整 全体フォーカスの調整を行います。
13	FOCUS2	レンズ調整 周辺のフォーカス調整を行います。
14	STATUS	本機の情報を確認します。
15	PATTERN	テストパターンを表示します。◀▶キーでパターンを切り替えます。
16	10キー「0」リモコン操作ロック	4秒長押しでリモコン操作が無効になります。リモコン操作をロックするときもリモコンは本体の受光部に向けて操作してください。この機能は、リモコンのみで操作できます。
17	ID SET	本体IDとリモコンIDをスクリーンに表示します。
18	SHUTTER	映像と音声を一時的に消します。再度ボタンを押すと投写します。
19	DEFAULT	選択しているメニュー項目を工場出荷時の設定値に戻します。この機能は、リモコンのみで操作できます。
20	SHIFT	レンズ調整 シフト調整を行います。
21	ZOOM	レンズ調整 ズーム調整を行います。
22	BACK	メニュー操作時に一つ前のメニュー階層に戻ります。
23	PICTURE	ピクチャーモード設定の切替します。
24	LAN	LAN設定メニューに移動します。
25	LENS MOTOR	レンズの調整機能のオン/オフを設定します。（フォーカス調整、シフト調整、ズーム調整の操作）
26	WARPING BLENDING	幾何学歪補正/ブレンディング設定メニューを表示します。
27	INPUT	入力メニューを表示します。
28	4K	4Kモードのオン/オフを切替えます。
29	HDBaseT	HDBaseTを選択します。
30	STANDBY	本機を待機状態(スタンバイ)にします。

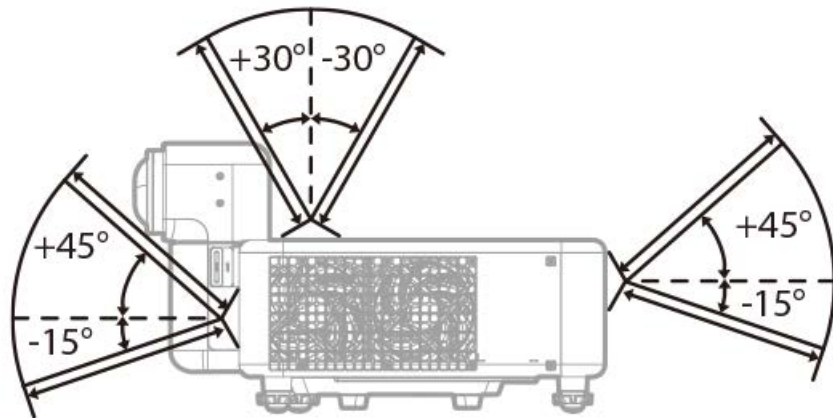
31	リモート出力	リモコンを有線接続で使用する際に、本体のリモート入力端子に市販の3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続します。
----	--------	---

メモ

リモート出力端子を使用すると、リモコンから赤外線は出力されません。

リモコンの受光範囲

プロジェクターの3つのリモコン受信部の受信範囲は以下の通りです。



- 角度： $\pm 30^\circ$ 、 $-15^\circ \sim 45^\circ$
- 距離：最大12メートル (39フィート)

IDナンバーの設定方法

リモコンのIDナンバーを設定することで、1つのリモコンで、複数台のプロジェクターの同時操作、または個別操作ができます。

例：ID“02”を設定する

1 プロジェクターIDを設定します。

リモコンの**ID SET** ボタンを押すと、ID番号が表示されます。

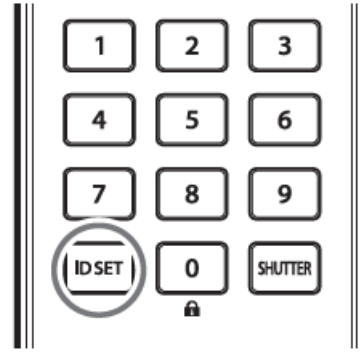
プロジェクターID設定を選択します (システム設定：基本メニュー)。

ID選択表示画面にある**プロジェクターID設定**で、**オン**を選択します。次に、「02」を選択し、**ENTER**で決定します。

2 本体のIDを設定します。

リモコンIDの初期設定は00です。

- ① **リモコン**：リモコンのID SETを3秒間長押しします。
➡ リモコンの操作バックライトが3秒間点滅し、その後点灯します。



- ② 10キーボタンで3秒以内に「0」を押し、3秒以内に「2」を押します
- ③ 3秒以内にENTERを押します。
➡ リモコンの操作表示ライトが消灯します。

⚠ 注意

操作が完了したら、プロジェクターとリモコンのIDが正しいことを確認してください。

📖 メモ

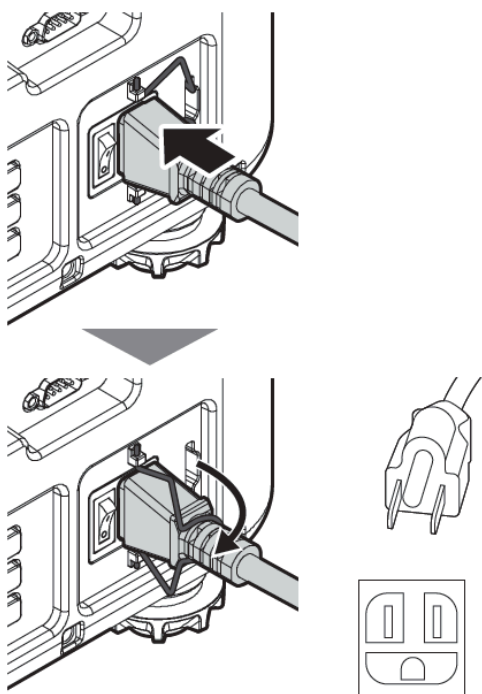
プロジェクターIDがオフの場合は、全てのリモコンID「00」～「99」で操作できる状態です。

基本的な使い方

電源ケーブルを接続する

- 1 付属の電源ケーブルをプロジェクターに接続し、コンセントに差し込みます。

ケーブルロックのフックが所定値に固定されていれば、ケーブルは固定されています。



3芯のコンセントに差し込んでください。

📌 ヒント：ケーブルのロック

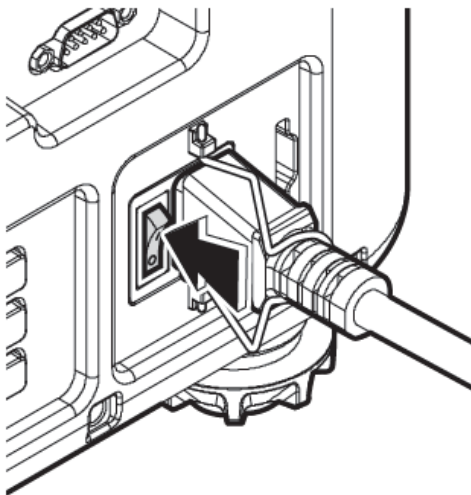
電源ケーブルの抜け防止のため、ケーブルロックでプロジェクターに固定してください。

⚠ 注意

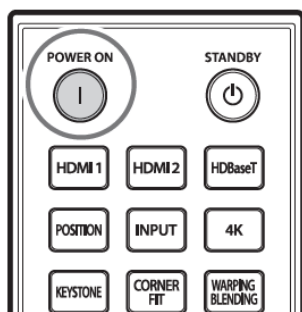
必ず付属の電源ケーブルを使用してください。また、付属の電源ケーブルは本機専用です。本機との組み合わせ以外では使用しないでください。

電源をオンにする

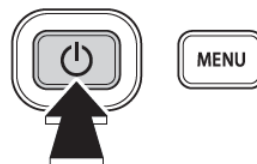
- 1 電源スイッチをオンにします。待機状態（スタンバイ）になります。インジケータランプが赤色（点灯/点滅）します。



- 2 電源ボタンを押して電源をオンにします。インジケータランプが緑色に点灯します。しばらくすると映像が投写されます。



リモコン



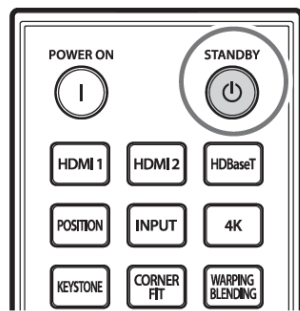
本体

⚠ 注意

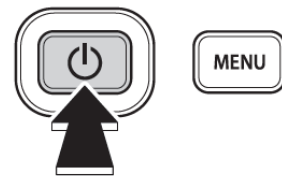
プロジェクターの電源がオンになっている間は、絶対にレンズを覗かないでください。

電源を待機状態（スタンバイ）にする

電源オン時に電源ボタンを押すと、確認のメッセージが表示されます。もう一度、電源ボタンを押すと、電源が待機状態（スタンバイ）になります。冷却ファンは電源が待機状態（スタンバイ）の数秒後に停止します。



リモコン



本体

設置概要

- ▼ 設置と保管に関するガイドライン
- ▼ 設置場所
- ▼ 高さ調節
- ▼ 天吊り用金具に関するご注意

設置と保管に関するガイドライン

本機を以下の場所に設置または保管しないでください。

- ・ 振動や衝撃のある場所：電源からの振動が伝わる場所や、車両や船舶の内部など。このような状況では、内部部品が損傷し、故障の原因となることがあります。
- ・ 高圧の電線または電源付近：電磁干渉を受けやすい可能性があります。
- ・ 強い磁場のある場所：強い磁場は故障の原因となります。
- ・ 屋外や湿気やほこりの多い場所：油煙、蒸気、腐食性ガスのある場所では、キャビネットが変形または亀裂したり、金属部品が腐食したり、故障する可能性があります。
- ・ 海辺付近：腐食性の潮風にさらされると、製品が落下するリスクを含め、損傷したり製品が故障する可能性があります。
- ・ エアコンの空気吹き出し口付近：熱風または冷風に直接さらされると、画面の「ちらつき」が発生する場合があります。
- ・ 照明機器の付近（スタジオランプなど）：突然の温度の変化は、光源の寿命を短くしたり、装置の変形または誤動作を引き起こす可能性があります。
- ・ 高出力レーザー機器の付近：レーザー光線が投写レンズに入ると、DLPチップの故障を引き起こす可能性があります。

⚠️ 注意

ホコリが多い環境で使用する、冷却と排気をおこなう内部のエアフローシステムが詰まり、輝度の減少や損傷する場合があります。このような問題を防ぐためには、定期的なメンテナンスが必要です。

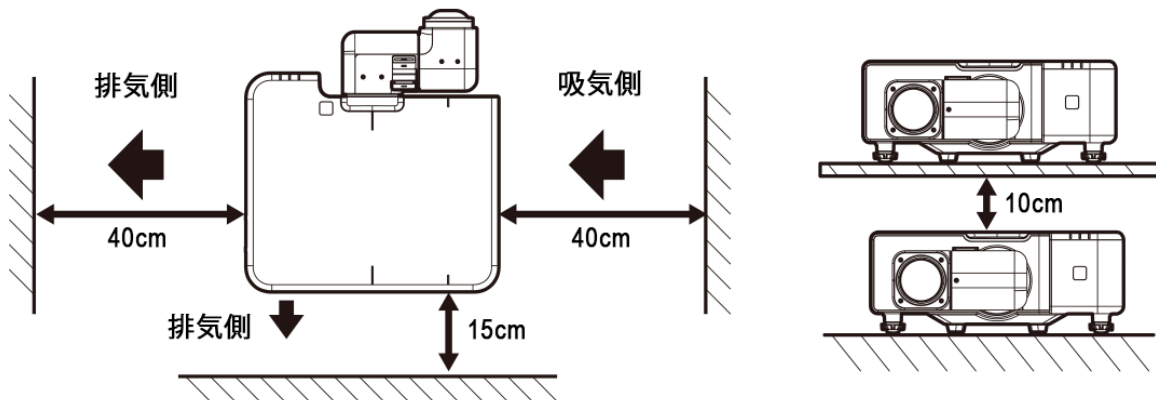
⚠️ 注意

- ・ 密閉空間に本装置を設置しないでください。
- ・ 密閉空間に設置する必要がある場合は、適切な空調または換気機器を必ず備えてください。
- ・ 換気が不十分な場合、熱が蓄積して装置のシャットダウンにつながる可能性があります。

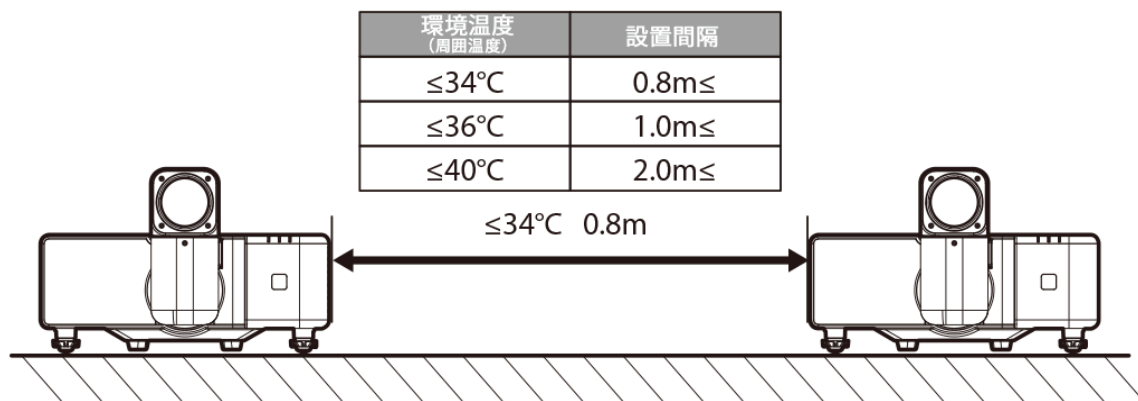
- 本装置を天井または壁に固定するときは、取り付けネジと電源コードが壁や天井内の金属部品に接触しないようにしてください。
- 金属部品と接触すると、感電の原因になる可能性があります。
- 保証期間中であっても、設置が不適切であることが原因で引き起こされる製品の損害に対しては、当社は責任を負いませんのでご注意ください。
- 最後に、製品の使用を注意する場合は、適切に取り外して処分することをお勧めします。

設置場所

プロジェクターを設置する際は、壁などから離してお使いください。また、棚などを使って重ねて設置するときは、棚との間を約10 cm 以上離してください。



プロジェクターを並べてお使いになるときは、環境温度 (周囲温度) に適した設置間隔を空けてください。また、排気口から出た熱が、プロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。

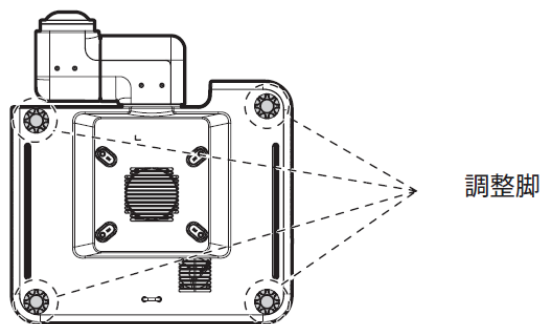


⚠ 注意

- プロジェクターの吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 起動後、レーザー光源によってレンズの温度が安定するまで、画像は数ピクセルずれることがあります。30分～1時間後に確認してください。また、安定するまでは、ブレンディングを調整 (再調整) しないでください。
- プロジェクターを熱がこもる場所に設置すると、画像が不安定になる可能性があります。設置が上記の条件を満たしていることを確認してください。

高さ調節

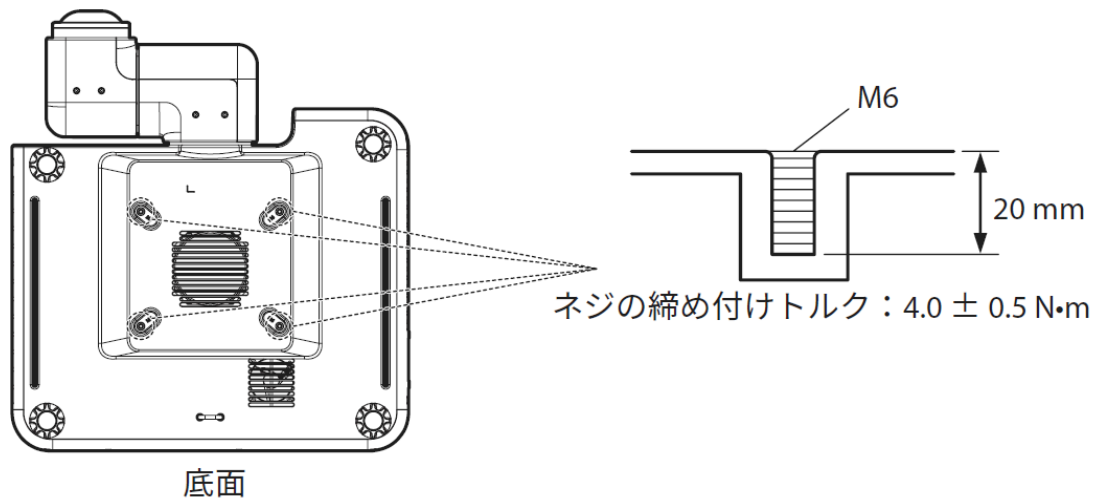
高さの調整は、調整脚で行います。(約1.9 cm)



天吊り用金具に関するご注意

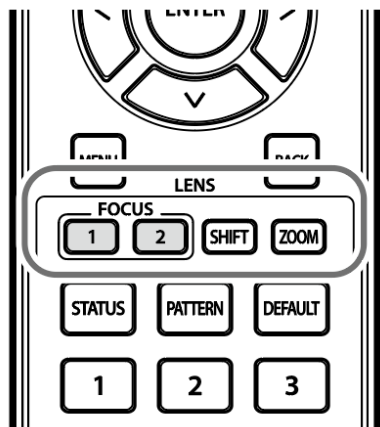
- プロジェクターを天井に設置する場合は、必ず指定の天吊り用金具を使用してください。
- プロジェクターを設置するときは、天吊り用金具に付属の落下防止キットを取り付けてください。落下防止キットが必要な場合は、販売店にご相談ください。
- プロジェクターを天井に取り付けるなどの設置作業は、資格のある技術者に依頼してください。
- 詳細については、天吊り用金具の取り付け手順をお読みください。

金具取り付けネジ穴の仕様

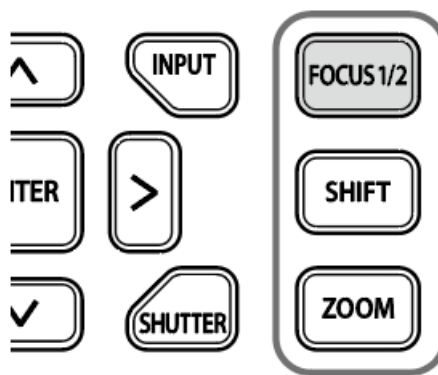


投写状態の調整

操作パネルまたはリモコンの「レンズ調整ボタン」を押すと、プロジェクターを設置する際の主な投写状態の調整（レンズシフト、フォーカス、ズーム）が行えます。



リモコン



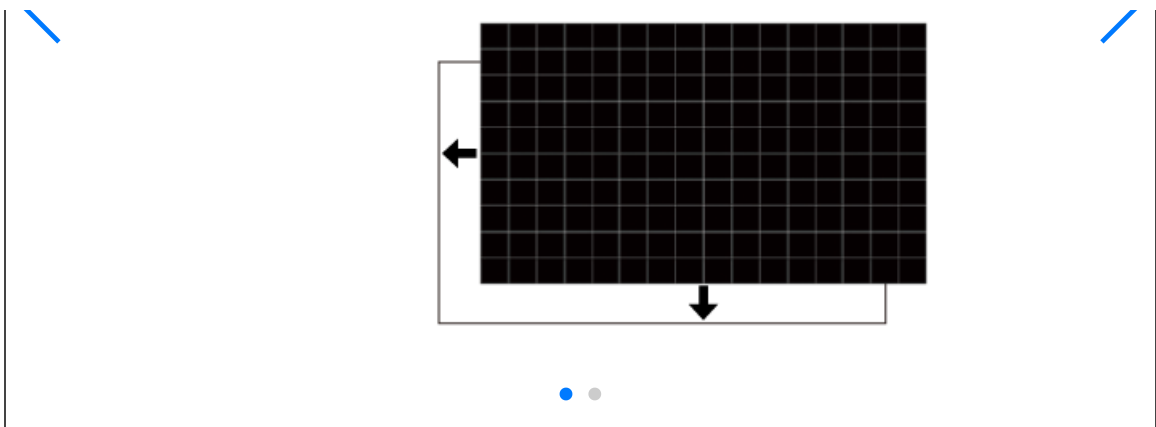
本体

- ▼ レンズシフト調整
- ▼ フォーカス調整
- ▼ ズーム調整
- ▼ 設置方法調整

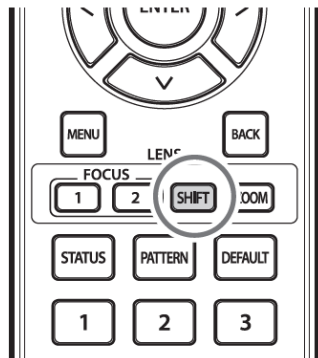
レンズシフト調整

投写映像の位置をレンズの光軸移動（レンズシフト）で調整します。

調整前

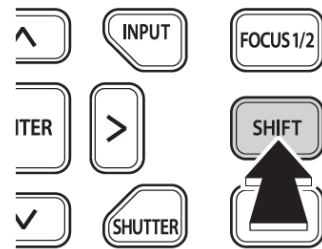


1 リモコン：SHIFTボタンを押します。



リモコン

本体：本体操作パネルのSHIFTボタンを押します。

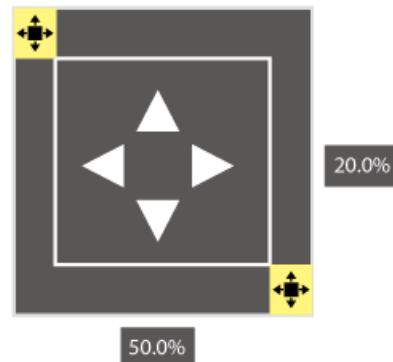


本体

2 セレクター（上下左右）ボタンで、投写映像の位置を調整します。

メモ

%で表示される数値は、シフト位置の参考値です。



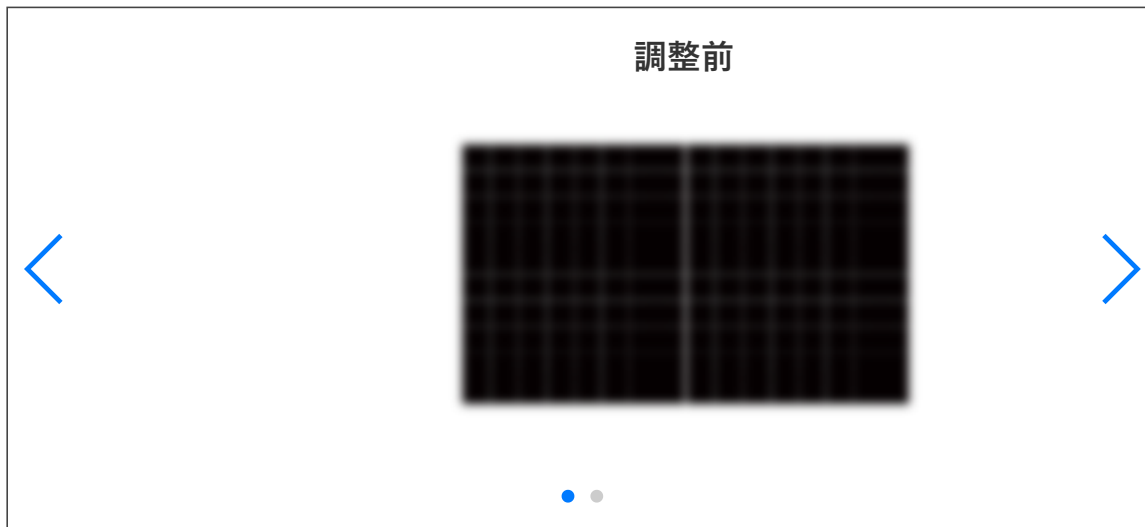
3 BACKボタンを押して、終了します。

メモ

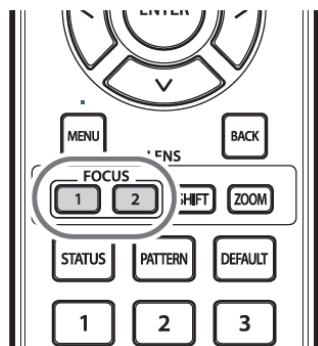
- ズーム調整はメニューからも行えます。
- ズームの調整後は、フォーカスが若干ずれることがあります。必要に応じてフォーカスを再調整してください。

フォーカス調整

投写映像のフォーカス (ピント) を調整します。テストパターン1を表示してください。

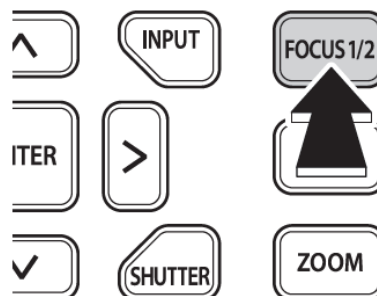


- 1** **リモコン**：リモコンにある「**FOCUS1**」および「**FOCUS2**」ボタンを使います。



リモコン

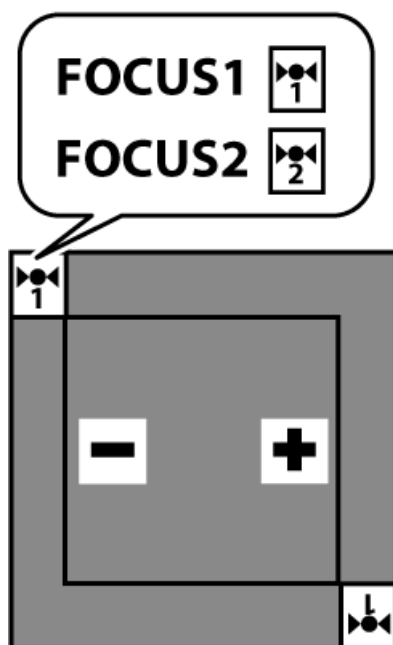
- 本体**：設定が本体操作パネルの「**FOCUS1/2**」ボタンを使います。



本体

- 2** セレクター (左右) ボタンで、フォーカスを調整します。

調整しているフォーカス (1または2) で表されるアイコンが変わります。



3 調整が終わったら **BACK** ボタンを押して、終了します。

メモ

フォーカス調整はメニューからも調整できます。

フォーカス調整

リモコンの **FOCUS1**、**FOCUS2** ボタンを使用して、フォーカスを調整します。

- **FOCUS1**：画面全体を調整します。
- **FOCUS2**：画面周辺を調整します。

テストパターン 1 を表示し、以下の手順で調整してください。

1. **FOCUS1** ボタンで、画面全体のピントを合わせます (①)。

レンズとスクリーンで “最も近い位置” の映像を見てフォーカスを合わせます。

2. **FOCUS2** ボタンで、周辺のピントを合わせます (②)。

レンズとスクリーンで “最も遠い位置” の映像を見てフォーカスを合わせます。

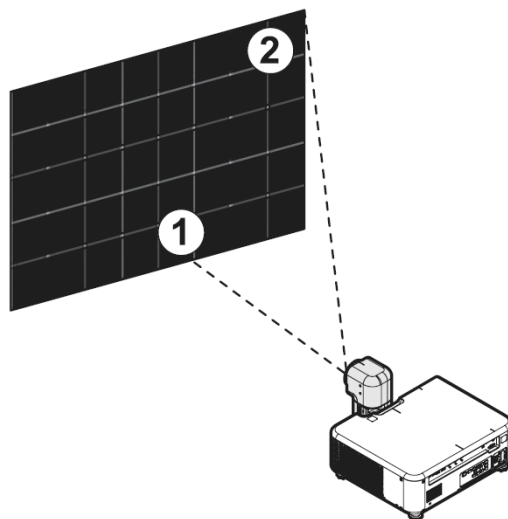
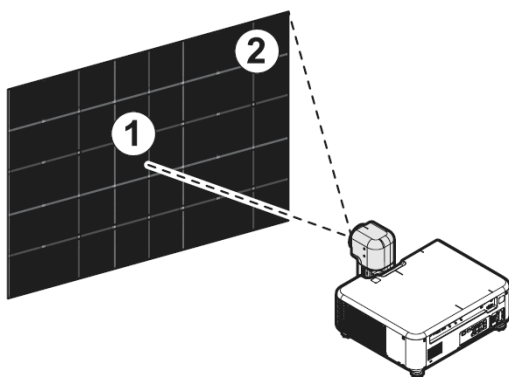
3. 再度 **FOCUS1** ボタンで、①の調整を行い、画面全体のピントを合わせます。

4. フォーカスが合わない場合は、手順1から手順3を繰り返して調整してください。

■ フォーカスの位置確認

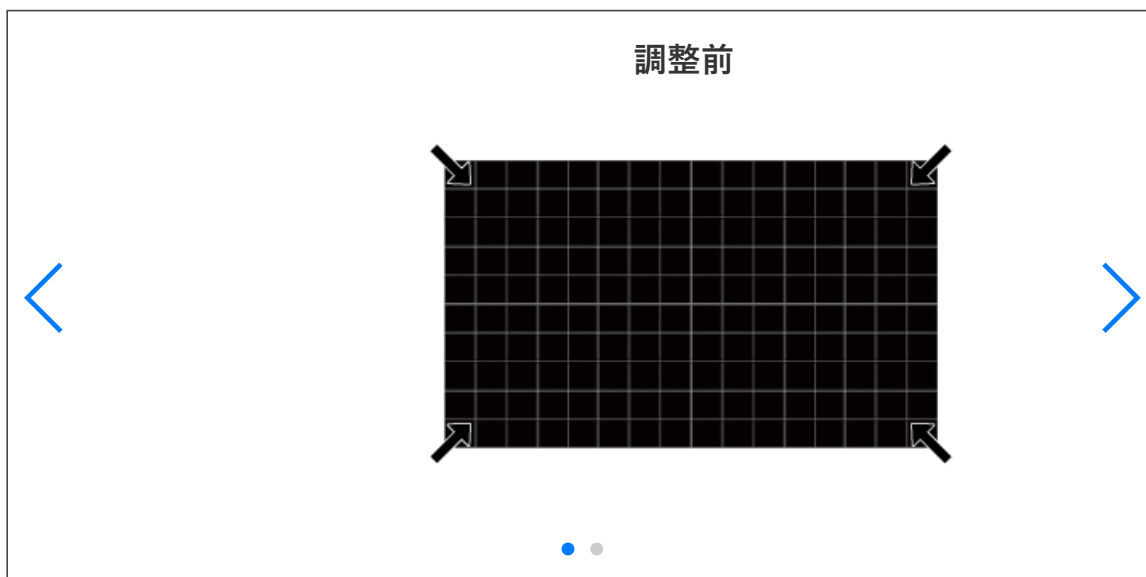
レンズシフトが ホームポジションの場合

レンズシフトが V (垂直) シフトの場合

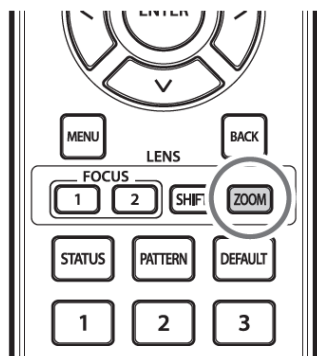


ズーム調整

投写映像の大きさを調整します。テストパターン1を表示します。

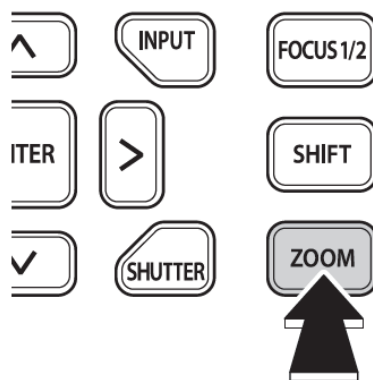


1 **リモコン**：ZOOM ボタンを押します。



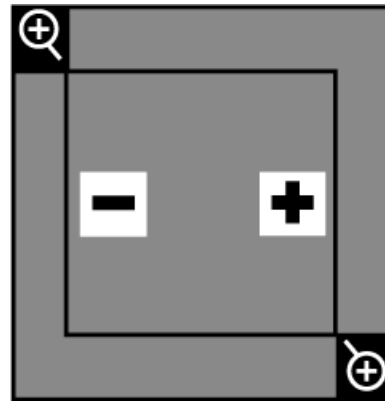
リモコン

本体：本体操作パネルの ZOOM ボタンを押します。



本体

- 2 セレクター（左右）ボタンで、投写画像の大きさを調整します。



- 3 BACK ボタンを押して、終了します。

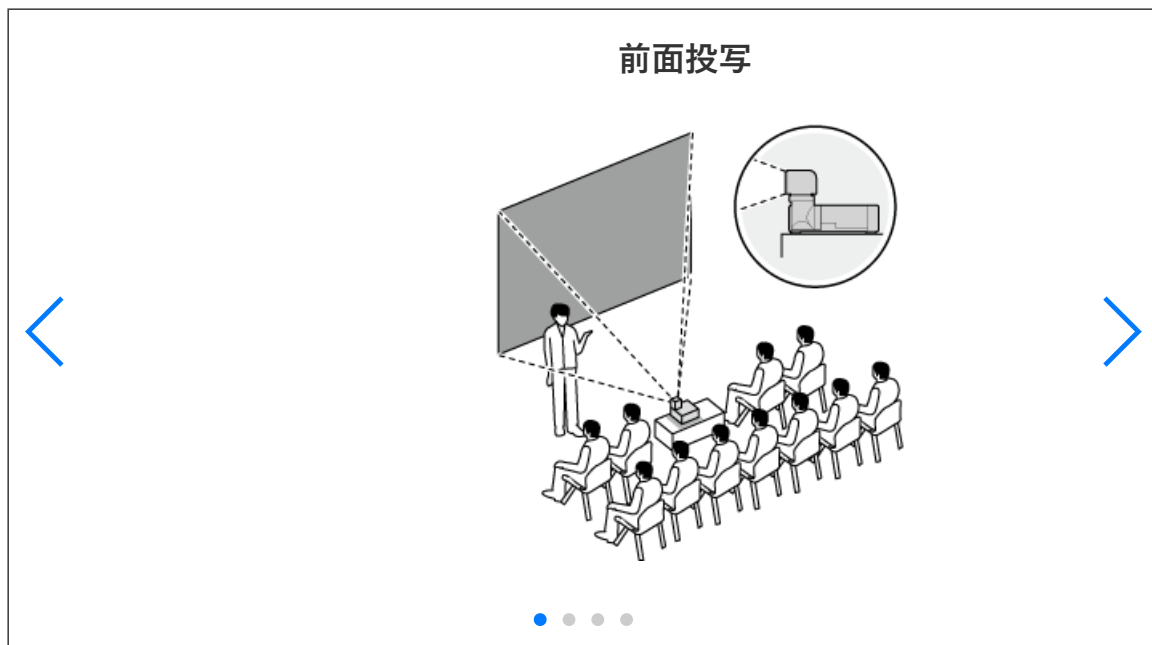
メモ

- ズーム調整はメニューからも行えます。
- ズームの調整後は、フォーカスが若干ずれることがあります。必要に応じてフォーカスを再調整してください。

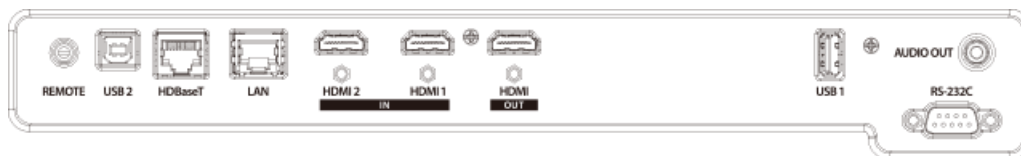
設置方法調整

プロジェクターとスクリーンの設置状態に合った設置方法を設定します。

表示 メニューの **プロジェクターの投写位置** から **前面投写**、**リア投写**、**天吊り投写**、**フロント・天吊り投写** の選びます (👉 **プロジェクターの投写位置**)。



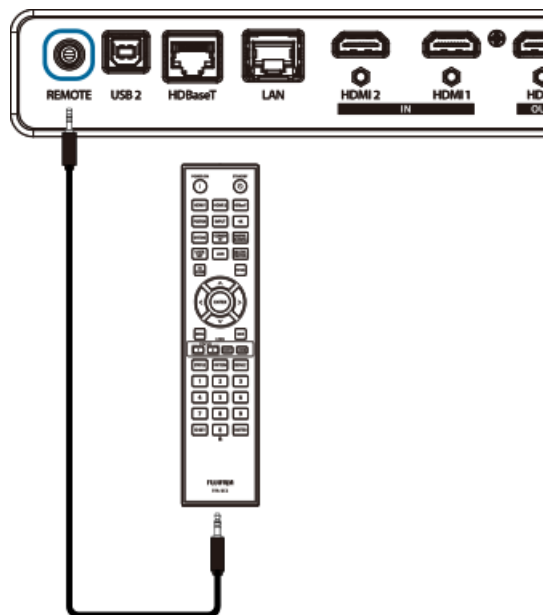
各機器との接続




- ▼ リモコンの接続（有線）
- ▼ HDBaseT対応の伝送機器（市販）との接続
- ▼ LAN対応機器との接続
- ▼ HDMI対応機器との接続
- ▼ 音響機器との接続
- ▼ RS-232C端子（シリアルポート）との接続

リモコンの接続（有線）

リモコンのリモート出力端子と本体のリモート入力端子を市販の3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続します。



- すべて接続環境において動作を保証するものではありません。
- リモート出力端子を使用すると、リモコンから赤外線は出力されません。
- 本体のリモコン受光部はオンのままです。
オフにするには  **システム設定：基本/リモコン受光部** でオフに設定してください。

HDBaseT対応の伝送機器（市販）との接続

市販のHDBaseT対応の伝送機器と接続するときは、HDBaseT端子に接続します。




接続イメージ



メモ

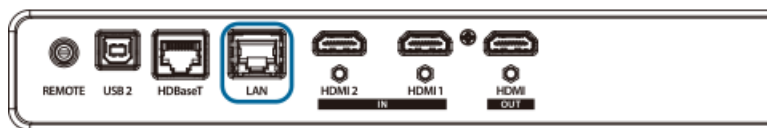
- システム設定：詳細のLAN設定で、操作チャンネルをHDBaseTにすると、HDBaseT端子を使用したLAN通信が可能です。

⚠ 注意

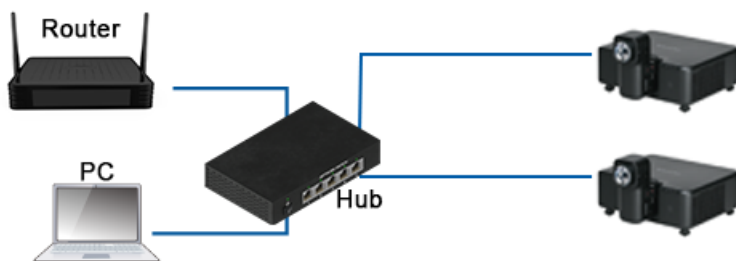
- Catケーブルはカテゴリ5e以上のシールド付きSTPケーブルをお使いください。
- Catケーブルでの伝送が可能な距離は最長約100 mです。
- 本機のHDBaseT端子は、シリアル通信・赤外線に対応した伝送機をサポートしています。
HDBaseTで赤外線を有効にするには  **システム設定：基本/リモコン受光部** でHDBaseTをオンに設定してください。
- 本機は市販のすべてのHDBaseT対応の伝送機器、およびすべての接続環境において動作を保証するものではありません。

LAN対応機器との接続

LANに対応した機器と接続するときは、市販のLANケーブルを使用してLAN端子に接続します。



接続イメージ

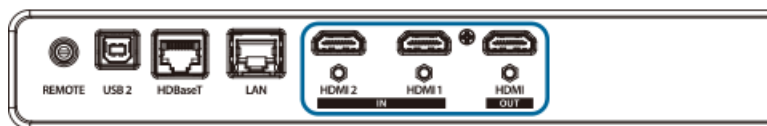


⚠ 注意

- システム設定：詳細のLAN設定で、操作チャンネルをHDBaseTに設定した場合、LAN端子は無効になります。
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

HDMI対応機器との接続

HDMIに対応した機器と接続するときは、HDMI端子に接続します。



📌 メモ

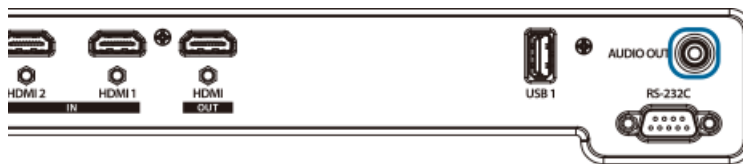
- HDMI OUT端子は、👉 [入力メニューの出力設定](#) でHDMI1/HDMI2の切替が可能です。

⚠ 注意

- 3840×2160 60p 4:2:2などの18Gbps伝送の映像を入出力する場合は、適合したHDMIケーブルをご使用ください。

音響機器との接続

投写している映像の音声を音響機器に出力するには、AUDIO端子に接続します。

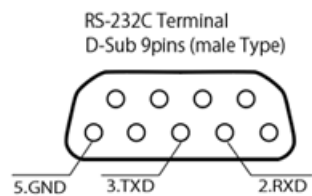


RS-232C端子（シリアルポート）との接続

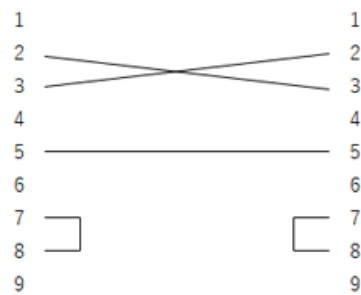
本機をRS-232Cで制御する場合は、RS-232C端子に接続します。



ピンアサイン



RS232 Crossover Cable



メモ

- PC等と接続するケーブルは、市販のクロスケーブルをご利用ください。

メニュー一覧

本プロジェクターのメニュー構成は以下のとおりです。

- ▼ 表示
- ▼ ピクチャー
- ▼ 入力
- ▼ システム設定：基本
- ▼ システム設定：詳細
- ▼ ステータス

表示

メニュー	設定値（太字は初期値の設定）
レンズ設定	レンズシフト：－
	レンズシフト設定：シフト範囲（ リミット / フル）、ホームポジション（ いいえ / はい）、キャリブレーション（ いいえ / はい）
	レンズシフトメモリ：メモリを選択（メモリ1～メモリ5）、読み込む、保存、クリア、すべて消去（ キャンセル / リセット）
	レンズモーターロック：ロック / ロック解除
	フォーカス1：－
	フォーカス2：－
	ズーム：－
テストパターン	オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12 / 13 / 14 / 15 / 16
プロジェクターの投写位置	前面投写 / リア投写 / リア・天吊り投写 / 天吊り投写
縦横比	オート / リアル / 4:3 / 16:10 / 16:9 / 21:9

デジタルズーム	比例：オン / オフ
	水平：50%～ 100% ～400%
	垂直：50%～ 100% ～400%
	デジタルシフト：水平 (0～ 50 ～100) / 垂直 (0～ 50 ～100)
	リセット：キャンセル / リセット
ラスターポジション	水平：-1000～ 0 ～1000 (上限/下限は信号やアスペクト比によって異なります)
	垂直：-600～ 0 ～600 (上限/下限は信号やアスペクト比によって異なります)
	リセット：キャンセル / リセット
ブランキング	上： 0 ～300ピクセル
	下： 0 ～300ピクセル
	左： 0 ～500ピクセル
	右： 0 ～500ピクセル
幾何学歪補正 & ブレンディング	幾何学歪補正 & ブレンディング設定: オフ / オン / アプリケーション
	グリッド ポイント： 2x2 / 3x3 / 5x5 / 9x9 / 17x17
	ワープインナー：オン / オフ
	ワープシャープネス： 0 ～ 19
	グリッドカラー：白 / 赤 / 緑 / 青 / マゼンタ / シアン
	グリッド背景：黒 / 透明
	エッジブレンディング設定：ブレンド幅、オーバーラップ グリッド数 (4 / 6 / 8 / 10 / 12)、ガンマ (1.8 ～ 2.2 ～2.4)
	メモリ：メモリを選択 (メモリ1～メモリ5)、読み込む、 保存、クリア、すべて消去 (キャンセル / リセット)
	リセット：キャンセル / リセット
キーストーン	垂直：-60～ 0 ～60
	水平：-60～ 0 ～60
コーナーフィット	左上：垂直： 0 ～80 / 水平： 0 ～120
	右上：垂直： 0 ～80 / 水平： 0 ～120
	左下：垂直： 0 ～80 / 水平： 0 ～120

	右下：垂直：0～80 / 水平：0～120
ピンクッション	水平：0～50～100
	垂直：0～50～100

ピクチャー

メニュー	設定値（太字は初期値の設定）
ピクチャーモード	ブライト / スタンダード[PROVIA] / ビビッド[Velvia] / シネマ[ETERNA] / マルチ投写[sRGB] / High Speed / HDR
明るさ	0 ～ 50 ～ 100
コントラスト	-50 ～ 0 ～ 50
色合い	-50 ～ 0 ～ 50
彩度	-50 ～ 0 ～ 50
ガンマ	1.6 ～ 2.2 ～ 3.3
シャープネス	1 ～ 8 ～ 15
色温度	3200K / 4200K / 5200K / 6200K / 6500K / デフォルト / 8200K / 9300K
色温度の詳細調整	R / G / B ゲイン：0 ～ 100 ～ 200
	R / G / B オフセット：-50 ～ 0 ～ 50
7色調整	色が赤/緑/青/シアン/マゼンタ/黄の時 <ul style="list-style-type: none"> 色相：0～254 彩度：0～254 ゲイン：0～254
	色が白の時 <ul style="list-style-type: none"> レッドゲイン：0～254 グリーンゲイン：0～254 ブルーゲイン：0～254 ホワイトピーク：0～100
ダイナミック コントラスト	ダイナミックブラック：オン / オフ
	速度：1 ～ 255
	レベル：50 ～ 100% (1%/ステップ)
	エクストリームブラック：オン / オフ
	ライト出力タイマー：0秒～20秒 (1秒/ステップ)

	ライト出力信号レベル： 1 ～ 255
	しきい値の点灯： 0 ～ 127
	リセット： キャンセル / リセット

入力

メニュー	設定値（太字は初期値の設定）
入力	HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT
出力	HDMI 1 / HDMI 2
カラースペース転換	オート / RGB(0-255) / RGB(16-235) / YUV / REC709
HDMI 1 イコライザー	オート / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7
HDMI 2 イコライザー	オート / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7
バックアップ入力設定	自動切換：オン / オフ
	現在の信号：HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT (表示のみ)
	最初の入力： HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT
	2番目の入力：HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT
	入力情報現在の信号、バックアップ入力のステータス、バックアップ入力の変更、最初の入力（解像度、垂直リフレッシュ、水平リフレッシュ、カラースペース、HDR）、2番目の入力（解像度、垂直リフレッシュ、水平リフレッシュ、カラースペース、HDR）（表示のみ）
EDID設定	HDMI 1: 2.0 / 1.4 / カスタム
	HDMI 2: 2.0 / 1.4 / カスタム
	HDBaseT: 2.0 / 1.4 / カスタム
HDR	オート / オフ

システム設定：基本

メニュー	設定値（太字は初期値の設定）
言語	24言語
メニュー設定	メニュー表示時間：5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 常時

	メニュー位置：中央 / 左下 / 右下 / 左上 / 右上
	アラームメッセージ：オン / オフ
	メニュー透明度：0～90
背景色	FUJIFILM(Blue) / FUJIFILM(White) / FUJIFILM(Black) / 黒 / 青 / カスタム
リモコン受光部	正面：オン / オフ
	上部：オン / オフ
	背面：オン / オフ
	HDBaseT: オン / オフ
プロジェクターID 設定	有効にする：オン / オフ
	プロジェクターID：00～99
パネルキーロック	オン / オフ
バックライト設定	パネルキー：オン / オフ / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒
	インジケーター：オン / オフ / 警告エラーのみ
セキュリティ設定	新規パスワード/パスワードの変更：セキュリティコードの入力（4桁）
	電源ロック：オン / オフ
オーディオ設定	ミュート：オン / オフ
	音量：0～50～100
4K設定	オン / オフ
高地対応モード	オン / オフ
設定をリセット	表示設定：キャンセル / リセット
	ピクチャー設定：キャンセル / リセット
	ベーシック設定：キャンセル / リセット
	アドバンス設定：キャンセル / リセット
	初期化：キャンセル / リセット

システム設定：詳細

メニュー	設定値（太字は初期値の設定）
光源モード	ノーマル / エコ

光出力	光出力設定：10%～100% (1%/ステップ)
	輝度補正：オン / オフ
シャッター設定	フェードイン：オフ / 0.5秒 / 1秒 / 1.5秒 / 2秒 / 2.5秒 / 3秒 / 3.5秒 / 4秒 / 4.5秒 / 5秒
	フェードアウト：オフ / 0.5秒 / 1秒 / 1.5秒 / 2秒 / 2.5秒 / 3秒 / 3.5秒 / 4秒 / 4.5秒 / 5秒
	起動：オン / オフ
操作設定	ダイレクト電源オン：オン / オフ
	信号検知オートパワーオン：オン / オフ
	オートパワーオフ：0～180分 (5分/ステップ)
	スリープタイマー：0.0～16.0時間 (0.5時間/ステップ)
スタンバイモード	スタンバイ / 通信
日時設定	クロックモード：手動 / NTP
	日付：[YYYY/MM/DD]
	時刻：[HH:MM]
	夏時間：オン / オフ
	NTPサーバーIPアドレス：[xxx/xxx/xxx/xxx]
	タイムゾーン：UTC+14:00～UTC+00:00～UTC-12:00
	更新間隔：時間ごと / 毎日
	適用：はい / いいえ
スケジュール設定	スケジュール有効：オン / オフ
	毎日 / 日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日：(オフ / スケジュール有効 (オフ / オン))、イベント01～イベント16：(時刻 / 機能 / イベント / リセット)、イベントのコピー先：(月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日 / 日曜日)、日付のリセット (キャンセル / リセット)
	リセット：キャンセル / リセット
LAN設定	状態：接続 / 切断 (表示のみ)
	MACアドレス：[XX:XX:XX:XX:XX:XX] (表示のみ)
	操作チャンネル：LAN / HDBaseT
	IPv4設定：DHCP (オン / オフ)、プロジェクターIPアドレス ([xxx/xxx/xxx/xxx])、サブネットマスク ([xxx/xxx/xxx/xxx])、デフォルトゲートウェイ：([xxx/xxx/xxx/xxx])、プライマリDNS：

	([xxx/xxx/xxx/xxx])、セカンダリDNS： ([xxx/xxx/xxx/xxx])、適用
	IPv6設定：DHCP (オン / オフ)、プロジェクターIPアドレス ([xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx])、プリフィックス (0～128)、デフォルトゲートウェイ： ([xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx])、DNS： ([xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx])、適用
LAN制御	Crestron Connected V2：オン / オフ
	Extron IP LINK: オン / オフ
	PJLink: オン / オフ
	AMX Device Discovery: オン / オフ
	Telnet: オン / オフ
	HTTP: オン / オフ
シリアル設定	9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200
ユーザー設定	メモリを選択：メモリ1～メモリ5
	読込－
	保存－
	クリア－
	すべて消去 (キャンセル / リセット)
フィルター設定	フィルター使用時間：XXhr (表示のみ)
	フィルター使用リマインダー制限： 4000/3500/3000/2500/2000/1500/ 1000 時間
	フィルター使用時間のリセット： キャンセル / リセット

ステータス

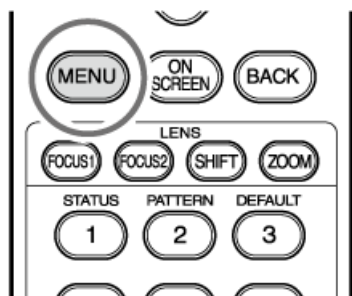
メニュー	設定値 (太字は初期値の設定)
概要	現在のシステム状況
システム	モデル名、シリアル番号、スタンバイモード、ピクチャーモード、 4K 設定、光源モード、光源合計使用時間、使用時間、レンズモーターロック、現在のシステム状況 (表示のみ)
システム温度/ファン情報	DMDボード温度、環境温度、BLD1温度、BLD2温度、BLD5温度、BLD6温度、ファン1温度、ファン2温度、ファ

	ン3温度、ファン4温度、ファン5温度、ファン6温度、ファン7温度、ファン8温度（表示のみ）
通信	プロジェクトID、ネットワーク情報、操作チャンネル、MACアドレス、IPv4設定、IPv6設定（表示のみ）
信号	現在の入力信号、解像度、垂直リフレッシュ、水平リフレッシュ、ピクセルクロック、カラースペース（表示のみ）
バックアップ入力のステータス	自動切替：オン/オフ、最初の入力信号、2番目の入力信号（表示のみ）
ファームウェアバージョン	メインバージョン、F-MCUバージョン、A-MCUバージョン、スケーラーバージョン、LANバージョン、フォーマッタバージョン、HDBaseTバージョン（表示のみ）

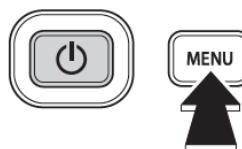
メニューの使い方

メニューを表示するには、本体の操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。

- 1 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押すと、メニューが表示されます。



リモコン



操作パネル

- 2 セレクター（左右）ボタンで、使用するメニューを選びます。



3 セレクター（上下）ボタンで、メニュー項目を選びます。

4 セレクター（左右）ボタンで、設定値を選びます。

 **メモ**

ENTER の表示があるメニューは、**ENTER** ボタンを押して、設定メニューを表示させてから設定を行います。

5 BACKボタンを押すと、終了します。

表示

プロジェクターの表示に関する設定を行います。



- ▼ [レンズ設定](#)
- ▼ [テストパターン](#)
- ▼ [プロジェクターの投写位置](#)
- ▼ [縦横比](#)
- ▼ [デジタルズーム](#)
- ▼ [ラスターポジション](#)
- ▼ [ブランキング](#)
- ▼ [幾何学歪補正 & ブレンディング](#)
- ▼ [キーストーン](#)
- ▼ [コーナーフィット](#)
- ▼ [ピンクッション](#)

レンズ設定

レンズに関する設定を行います。

設定するレンズ設定の項目を選んで **ENTER** ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

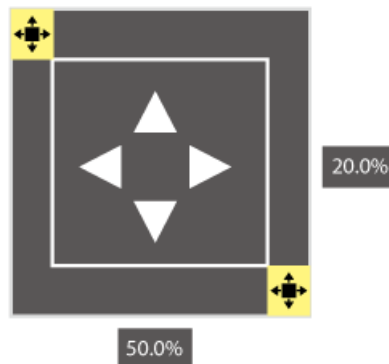
項目	説明
レンズシフト	投写映像の位置をレンズの光軸移動（レンズシフト）で調整します。
レンズシフト設定	レンズシフトに関する設定を行います。
レンズシフトメモリ	レンズシフト位置を保存します。
レンズモーターロック	オンにすると、レンズシフト・フォーカス1・フォーカス2・ズームの操作を抑止します。
フォーカス1	投写映像の画面全体のフォーカス（ピント）を調整します。
フォーカス2	投写映像の画面周辺のフォーカス（ピント）を調整します。

ズーム	投写映像の大きさを調整します。
-----	-----------------

レンズシフト

ENTER ボタンを押して、レンズシフト調整画面を表示させ、セクター（上下左右）ボタンで、投写映像の位置を調整します。

画面はV（垂直）方向に最大で82%、H（水平）方向に最大35%シフトさせることができます。



レンズシフト設定

レンズシフトに関する設定を行います。

ENTER ボタンを押しサブメニューを表示させ、設定を変更する項目を選びます。

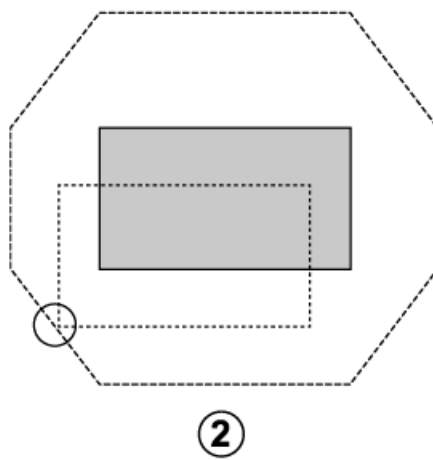
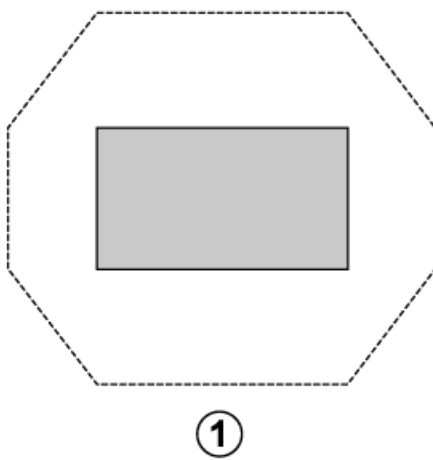
シフト範囲

レンズシフトのシフト範囲を選択します。

設定	
リミット	フル

- **リミット**：映像が欠けない範囲でレンズシフトします。

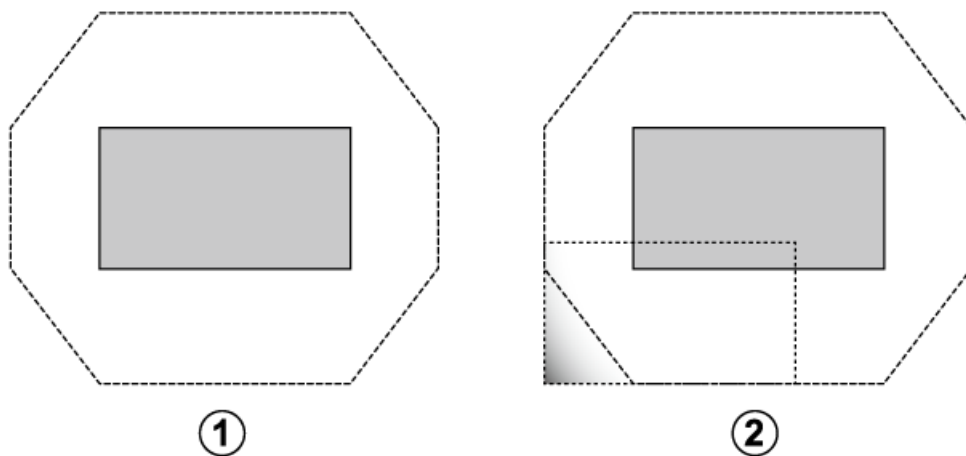
- ① 中央位置
- ② 左下側にレンズシフトしたときに欠けません



- **フル**：レンズシフト範囲を最大幅でシフトします。

- ① 中央位置

- ② 左下側にレンズシフトしたときに画像が欠けます



■ ホームポジション

レンズをホームポジションに戻します。

ENTERボタンを押すと、レンズをホームポジションに戻すかを確認する画面が表示されます。

OKを押すとレンズシフトが動きます。レンズ移動中のメッセージが消えるまで、他の操作はしないでください。

■ キャリブレーション

レンズのキャリブレーションを実行します。キャリブレーションが完了すると、すべてのレンズシフトメモリの消去を求めるメッセージが表示されます。

レンズシフトメモリ

最大5つのレンズシフト位置を保存できます。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

1. **メモリを選択**を選び、ENTERを押します。必要に応じて、**メモリ1**から**メモリ5**の中から使用するメモリを選びます。
2. 次のいずれかの項目を選びます。
 - **読込**: 選択したメモリに保存されているレンズシフト位置にレンズを移動します。
 - **保存**: 選択したメモリに現在のレンズシフト位置を記憶します。
 - **クリア**: 選択したメモリの内容を消去します。
3. **すべて消去**を選ぶと、すべてのメモリの内容を消去します。

📌メモ

- リモコンのSHIFTボタンを3秒以上押し続けることでも、キャリブレーションを実行します。

レンズモーターロック

レンズモーターをロックするか、ロックを解除します。

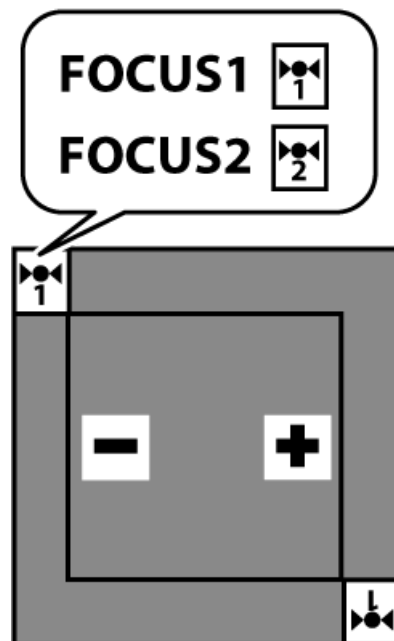
設定	機能
ロック	レンズシフト・フォーカス1・フォーカス2・ズームの操作をロックします。
ロック解除	レンズシフト・フォーカス1・フォーカス2・ズームの操作が可能です。

フォーカス1 / フォーカス2

フォーカス（ピント）を調整します。

ENTERボタンを押して、フォーカス調整画面を表示させ、セクター（左右）ボタンで、フォーカスを調整します。

- FOCUS1: 画面の光軸中心を調整します。
- FOCUS2: 画面周辺を調整します。

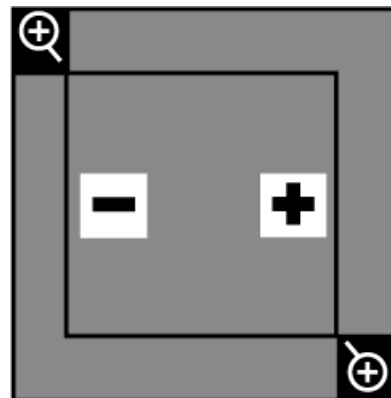


ズーム

投写映像の大きさを調整します。

ENTERボタンを押して、ズーム調整画面を表示させ、セクター（上下左右）ボタンで、投写映像の大きさを調整します。

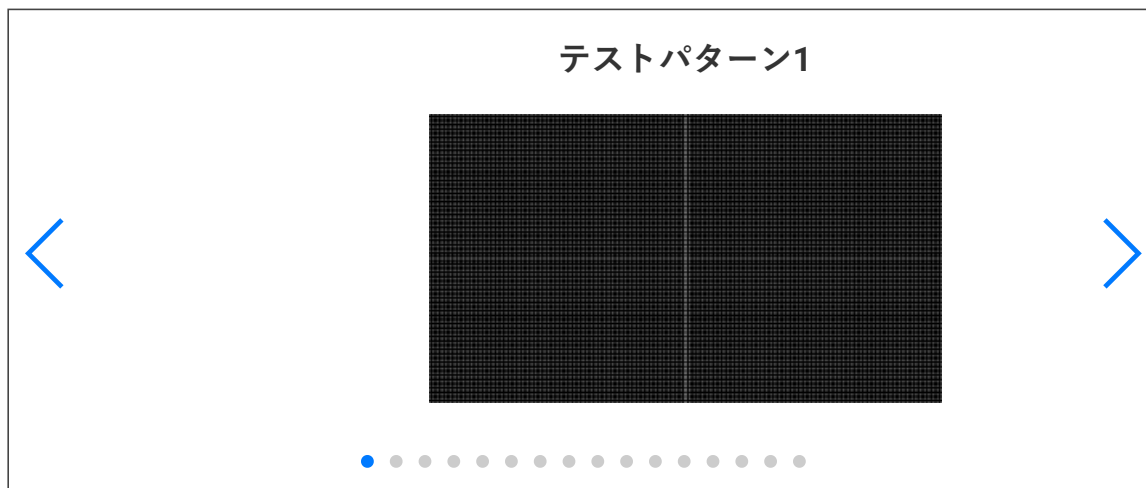
「-」の場合は、投写画像が縮小され、「+」の場合は、投写画像が拡大されます。



テストパターン

プロジェクターを設置する際のテストパターン（グリッド等）を選びます。

設定																
オフ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16



メモ

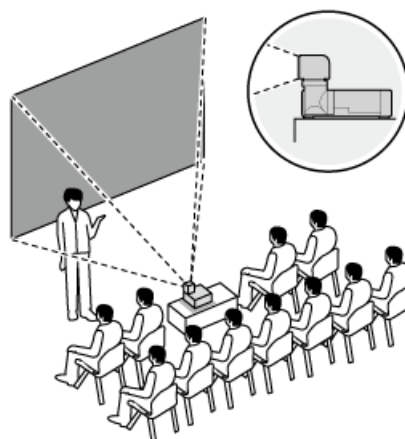
テストパターンの表示中にメニュー画面を一時的に非表示にするには、リモコンのON SCREEN ボタンを押します。再度ON SCREEN ボタンを押すとメニューが表示されます。

プロジェクターの投写位置

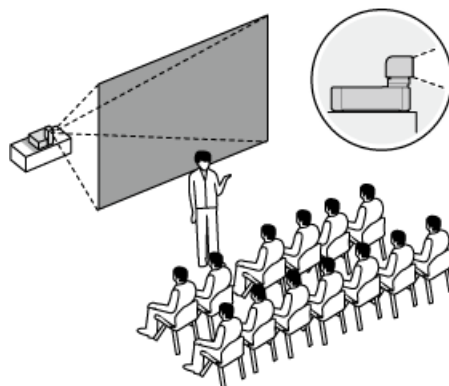
プロジェクターの投写状態によって、投写位置を選びます。

設定			
前面投写	リア投写	リア・天吊り投写	フロント・天吊り投写

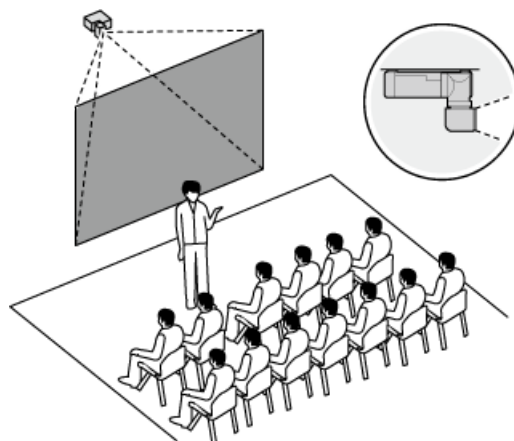
- **前面投写**：テーブルに設置してスクリーンの前面に投写する場合



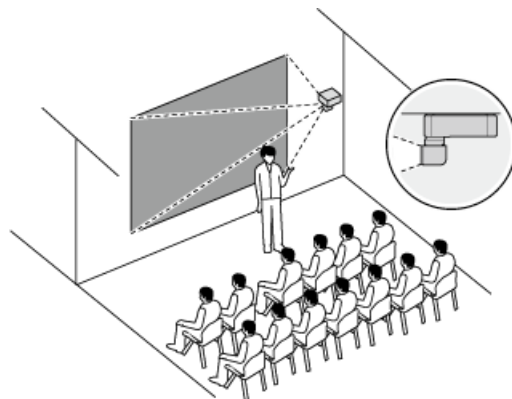
- **リア投写**：テーブルに設置してスクリーンの背面に投写する場合



- **リア・天吊り投写**：天井に設置してスクリーンの背面に投写する場合



- **フロント・天吊り投写**：天井に設置してスクリーンの前面に投写する場合



縦横比

プロジェクターの位置に合わせて、投写位置を選びます。

設定					
オート	リアル	4:3	16:10	16:9	21:9

メモ

各入力に対する設定は、個別に保存されます。

デジタルズーム

デジタルズームを使用して投写映像を拡大します。

表示メニューで**デジタルズーム**を強調表示し、ENTERを押してオプションを表示します。

項目	機能
比例	投写映像のサイズを相対的に変更します。
水平	投写映像の水平倍率を変更します。
垂直	投写映像の垂直倍率を変更します。
デジタルシフト	画像をデジタルシフトします。
リセット	デジタルズーム設定をデフォルト値に戻します。

比例

投写映像のサイズを相対的に変更するにはオンに設定し、この機能を無効にするにはオフに設定します。

設定	
オン	オフ

水平

投写映像の水平倍率を変更します。

設定
50%～ 100% ～400%

垂直

投写映像の垂直倍率を変更します。

設定
50%～ 100% ～400%

デジタルシフト

水平方向と垂直方向の倍率を増やして、投写映像をデジタルシフトします。

設定	
水平	0～50～100
垂直	0～50～100

リセット

デジタルズーム設定をデフォルト値に戻します。

設定	
キャンセル	リセット

ラスターポジション

画面にフル表示されない入力映像を、画面内に自由に配置することができます。

設定	
水平	投写映像を-1000～1000ピクセルの範囲で左右に動かします。
垂直	投写映像を-600～600ピクセルの範囲で上下に動かします。
リセット	ラスターポジションをデフォルト値に戻すには、リセットを選択します。 確認画面が表示されたらでもう一度リセットを選択し、はいで確定します。

例えば、アスペクト比が16:10の映像を、アスペクト比が16:9の画面に表示したとします。

- ① 画面のアスペクト比は16:9です。
- ② 映像のアスペクト比は16:10です。
- ③ ラスターポジションの水平を使用して映像を水平方向に移動させ、表示エリアを移動します。



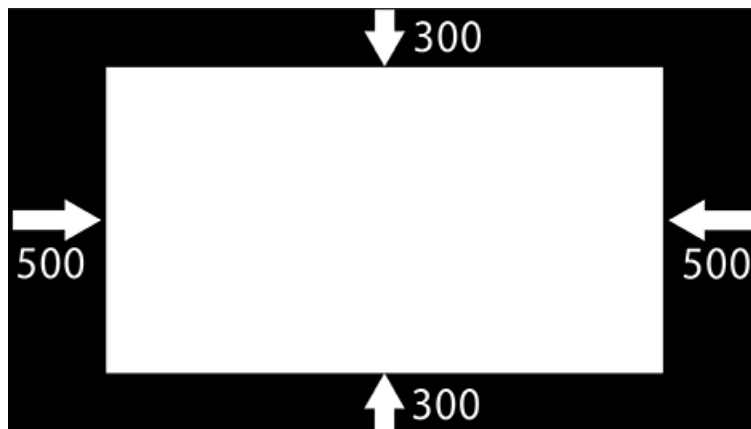
上限/下限は信号やアスペクト比によって異なります。

ブランキング

画面の余白は垂直方向に300ピクセル、水平方向に500ピクセル調整できます。

項目			
上 300ピクセル	下 300ピクセル	左 500ピクセル	右 500ピクセル

セクタ（上下）を押して変更する余白を選択し、左または右に押して調整します。



幾何学歪補正 & ブレンディング

幾何学歪補正（ワーピング）や複数台のプロジェクター映像のつなぎ目を目立たなくするには、幾何学歪補正 & エッジブレンディング機能を使用します。

ENTERボタンを押してオプションを表示させ、必要な項目を選びます。

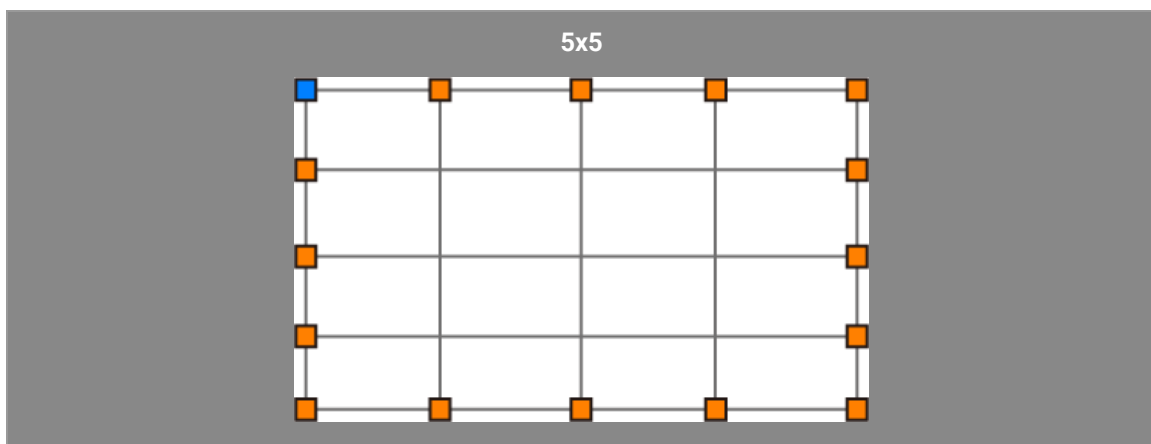
幾何学歪補正 & ブレンディング設定

設定	機能
オフ	幾何学歪補正およびエッジブレンディング機能を無効にします。
オン	幾何学歪補正とエッジブレンディング機能を有効にし、次の設定を行います：グリッド ポイント、ワープ インナー、ワープシャープネス、グリッドカラー、グリッド背景、およびブレンディング設定。
アプリケーション	アプリケーションを使って幾何学歪補正およびエッジブレンディング設定を行います。

- **グリッド ポイント**

選択可能なグリッドマス数を選択します。

項目				
2x2	3x3	5x5	9x9	17x17

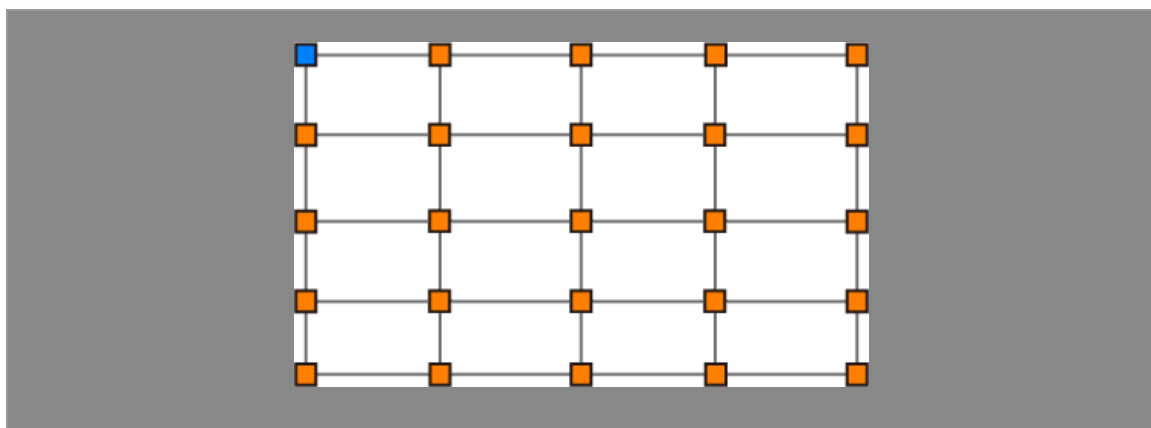


• ワープインナー

マス目の内側に調整ポイントを追加する場合はオンに設定します。

項目	
オン	オフ

1. セレクタ（上下左右）を押して、変更するグリッドポイントを選択します。
2. セレクター（左右）ボタンを押して、必要なグリッドポイントを変更します。



• ワープシャープネス

幾何学歪補正時のシャープネスを調整します。

項目
0~19

• グリッドカラー

グリッドカラーを選びます。

項目					
白	赤	緑	青	マゼンタ	シアン

- **グリッド背景**

グリッドの背景色を選びます。

項目	
黒	透明

- **エッジブレンディング設定**

複数台のプロジェクターの映像部分のつなぎ目を目立たなくして、なめらかにする機能です。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

- **ブレンド幅**：ブレンドエリアの幅を設定します。ブレンド幅には上、下、左、右の4つのオプションがあります。調整単位は1ステップあたり4ピクセルです。

- **オーバーラップグリッド数**：グリッドポイント画面に表示するブレンド幅あたりのグリッド線の数を選択します。

- **ガンマ**：重なった部分のガンマ値を1.8-2.4の範囲で指定します。

- **メモリ**

最大5つの幾何学歪補正 & エッジブレンディング設定を保存できます。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

1. **メモリを選択**を選び、ENTERを押します。必要に応じて、**メモリ1**から**メモリ5**の中から使用するメモリを選びます。

2. 次のいずれかの項目を選びます。

- **読み込む**：選択したメモリから幾何学歪補正 & エッジブレンディング設定を読み込みます。

- **保存**：選択したメモリに幾何学歪補正 & エッジブレンディング設定を保存します。

- **クリア**：選択したメモリーの内容を消去します。

3. **すべて消去**を選ぶと、すべてのメモリーの内容を消去します。

- **リセット**

幾何学歪補正 & エッジブレンディング設定をデフォルト値にリセットするには、ENTERを押し、確認画面が表示されたら**リセット**を選択します。

キーストーン

幾何学歪補正 & エッジブレンディング設定がオンまたはアプリケーションの場合は使用できません。

スクリーンに対して垂直に投写されていないときに生じる台形のゆがみを補正（キーストーン調整）します。

ENTERボタンを押して、キーストーン補正画面を表示させ、セクター（上下左右）ボタンで、台形のゆがみを補正します。

マイナス値の場合は投写映像が縮小され、プラス値の場合は投写映像が拡大されます。

軸	範囲
垂直（V）	-60～0～60
水平（H）	-60～0～60



コーナーフィット

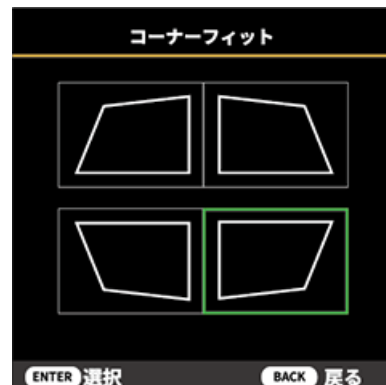
幾何学歪補正 & エッジブレンディング設定がオンまたはアプリケーションの場合は使用できません。

映像の四隅を個々に調整して、歪みのない映像に調整します。

項目	範囲
左上	垂直：0～80
	水平：0～120
右上	垂直：0～80
	水平：0～120
左下	垂直：0～80
	水平：0～120
右下	垂直：0～80
	水平：0～120

1 **ENTER** ボタンを押して、コーナーフィット画面を表示させます。

2 セレクター（上下左右）ボタンで、補正する場所を選び、**ENTER** ボタンを押します。



3 コーナー位置を水平、垂直方向に補正します。



-
- 4** コーナー位置を水平、垂直方向に補正します。

ピンクッション

樽型歪あるいは糸巻型歪に湾曲した映像を調整します。

項目	機能
水平	水平方向に歪みのある投写映像を補正します。範囲は0～100です。
垂直	垂直方向に歪みのある投写映像を補正します。範囲は0～100です。

ピクチャー

投写映像の調整を行います。



- ▼ ピクチャーモード
- ▼ 明るさ
- ▼ コントラスト
- ▼ 色合い
- ▼ 彩度
- ▼ ガンマ
- ▼ シャープネス
- ▼ 色温度
- ▼ 色温度の詳細調整
- ▼ 7色調整
- ▼ ダイナミックコントラスト

ピクチャーモード

ピクチャーモードを選びます。

設定	説明
ブライト	明るい場所で使用する時のモードです。
スタンダード[PROVIA]	標準的な発色と諧調で幅広い映像に適します。
ビビッド[Velvia]	高彩度でメリハリのある映像を投写します。
シネマ[ETERNA]	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンの映像を投写します。
マルチ投写[sRGB]	sRGB に準拠したモードです。
High Speed	120/240のフレームレートの映像入力時にHigh Speedモードになります。
HDR	HDR（ハイダイナミックレンジ）の映像入力時にHDRモードになります。



High Speed、HDRは入力信号を自動的に検出し、このモードに切り替えます。

明るさ

投写映像の明るさを調整します。

設定

0～**50**～100

コントラスト

投写映像のコントラスト（明るい部分と暗い部分の差）を調整します。

設定

-50～**0**～50

色合い

投写映像の色合いを調整します。値が高いほど緑がかり、値が低いほど赤味がかった映像になります。

設定

-50～**0**～50

彩度

投写映像の彩度を調整します。「+」側は色が濃くなり、「-」側は色が薄くなります。

設定

-50～**0**～50

ガンマ

投写映像のガンマ調整を行います。

設定
1.6～ 2.2 ～3.3

シャープネス

輪郭のシャープネスを調節します。

設定
1～ 8 ～15

色温度

投写映像の色温度を設定します。

設定							
3200K	4200K	5200K	6200K	6500K	デフォルト	8200K	9300K

色温度の詳細調整

設定した色温度ホワイトバランスを詳細に調整できます。

ENTERボタンを押して、色温度の詳細調整画面を表示させ、セレクターボタンの上下で調整する項目を選び、左右で調整します。

項目	機能
Rゲイン	赤色のコントラストを調整します。0から200の間の値を選びます。数値が小さいほどコントラストが弱くなり、大きいほど強くなります。
Gゲイン	緑色のコントラストを調整します。0から200の間の値を選びます。数値が小さいほどコントラストが弱くなり、大きいほど強くなります。
Bゲイン	青色のコントラストを調整します。0から200の間の値を選びます。数値が小さいほどコントラストが弱くなり、大きいほど強くなります。
Rオフセット	赤色の明るさを調整します。-50から50の間の値を選びます。数値が小さいほど明るさが弱くなり、大きいほど強くなります。

Gオフセット	緑色の明るさを調整します。-50から50の間の値を選びます。数値が小さいほど明るさが弱くなり、大きいほど強くなります。
Bオフセット	青色の明るさを調整します。-50から50の間の値を選びます。数値が小さいほど明るさが弱くなり、大きいほど強くなります。

7色調整

7色（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄、白）の色相、ゲイン、彩度をそれぞれ調整します。

ENTERボタンを押して7色調整画面を表示させ、セレクト（左右）ボタンで調整する色を選び、各項目を調整します。

色に赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄を選択した場合

項目	範囲
色相	0 ～ 254
ゲイン	0 ～ 254
彩度	0 ～ 254

色にホワイトを選択した場合

項目	設定
Rゲイン	0 ～ 254
Gゲイン	0 ～ 254
Bゲイン	0 ～ 254

ホワイトピーク

白色の明るさを調整します。

設定
0 ～ 100

ダイナミックコントラスト

ダイナミックコントラストを設定して、暗いコンテンツのコントラストを最大にします。

ENTERボタンを押してオプションを表示させ、必要な項目を選びます。

ダイナミックブラック

この機能を有効にすると、入力映像のコントラスト比が自動的に調整されます。光源出力を最適化することで、暗いシーンのブラックレベルを向上させます。

設定	範囲
オン	ダイナミックブラック を有効にし、補正速度と輝度レベルを調整します。
オフ	ダイナミックブラック を無効にします。

- **速度**

光源出力の補正速度を調整します。値の範囲は**1～255**です。値を小さくすると補正速度が遅くなり、値を大きくすると補正速度が速くなります。

- **レベル**

入力映像の輝度レベルが設定値より低くなったときに、光源を調整します。値の範囲は**50%～100%**です。値が大きいほど、光源を調整する範囲が広がります。

エクストリームブラック

この機能を有効にすると、黒い画像が検出されたときに光源出力を指定されたレベルまで下げます。

設定	範囲
オン	エクストリームブラック を有効にし、ライト出力タイマー、ライト出力信号レベル、しきい値の点灯を設定します。
オフ	エクストリームブラック を無効にします。

- **ライト出力タイマー**

黒の映像を検知してから光源出力を下げるまでの時間を設定します。設定範囲は**0秒～20秒**までです。

- **ライト出力信号レベル**

光源出力を下げる信号レベルを設定します。値の範囲は**1～255**です。

- **点灯しきい値**

光源出力を戻すしきい値を設定します。値の範囲は**0～127**です。

リセット

ダイナミックコントラスト設定をデフォルト値に戻します。

設定	
キャンセル	リセット

メモ

ダイナミックブラックとエクストリームブラックは同時に使用できません。

入力

入力に関する設定を行います。



- ▼ 入力
- ▼ 出力
- ▼ カラースペース転換
- ▼ HDMI 1 イコライザー
- ▼ HDMI 2 イコライザー
- ▼ バックアップ入力設定
- ▼ EDID設定
- ▼ HDR

入力

入力ソースを選びます。

設定		
HDMI1	HDMI2	HDBaseT

出力

出力ソースを選びます。

設定	
HDMI1	HDMI2

カラースペース転換

映像を表示する色空間を選びます。

設定				
オート	RGB(0-255)	RGB(16-235)	YUV	REC709

HDMI 1 / HDMI 2 イコライザー

長距離のHDMIケーブルを使う場合に、安定した信号に調整できます。お使いの状況にあわせて設定してください。

設定							
オート	1	2	3	4	5	6	7

バックアップ入力設定

入力信号が使用できなくなった場合に、自動でバックアップの入力信号に切り換える事が可能です。
（2つの入力端子の映像信号が同一である必要があります。）
ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

自動切換

入力信号の自動切換を有効または無効にします。

設定	説明
オン	入力信号の自動切換を有効にします。
オフ	入力信号の自動切換を無効にします。

現在の信号

現在の入力信号を表示します（表示のみ）。

最初の入力/2番目の入力

最初および2番目の入力を選びます。

設定		
HDMI1	HDMI2	HDBaseT

入力情報

現在の入力信号、バックアップ入力のステータス、バックアップ入力の動作状況、入力信号の詳細を表示します。


バックアップ入力のステータスで実際に自動切換が可能な状態が識別できます。


EDID設定

各入力端子がサポートするEDIDバージョンを設定します。
ENTERボタンを押してオプションを表示させ、必要な項目を選びます。

HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT EDID設定

設定		
2.0	1.4	カスタム

 **メモ**

カスタムに設定した場合、工場出荷時は2.0と同じになります。内容を変更する場合は  **Web制御機能** からEDID情報ファイルをアップロードする必要があります。

HDR

HDR機能を設定します。

設定	説明
オート	HDR信号を自動検出します。
オフ	HDR機能をオフにします。オフに設定すると、プロジェクターはHDR信号を表示できません。

システム設定：基本

システムの基本的な設定を行います。



- ▼ 言語
- ▼ メニュー設定
- ▼ 背景色
- ▼ リモコン受光部
- ▼ プロジェクターID 設定
- ▼ パネルキーロック
- ▼ バックライト設定
- ▼ セキュリティ設定
- ▼ オーディオ設定
- ▼ 4K設定
- ▼ 高地対応モード
- ▼ 設定をリセット

言語

メニューなどを表示する言語を選びます。

設定		
English	日本語	ไทย
Français	한국어	Norsk
Deutsch	Svenska	Bahasa Indonesia
Italiano	Nederlands	Tiếng Việt
Español	Türkçe	Čeština
Русский	Português	Suomi
繁體中文	Polski	Ελληνικά

简体中文	Dansk	Magyar
------	-------	--------

メニュー設定

メニューの表示方法の設定を行います。

ENTER ボタンを押してメニュー設定項目を選びます。

メニュー表示時間

メニューを画面に表示する時間を設定します。

設定				
5秒	10秒	20秒	30秒	常に表示

メモ

レンズシフト、フォーカス1・2、ズームの操作画面表示は、常に30秒となります。

メニュー位置

メニューを画面に表示する位置を選びます。

設定				
中央	左上	右上	右下	左下

アラームメッセージ

アラートを表示するには**オン**を選びます。

設定	
オン	オフ

メモ

アラームメッセージで**オフ**を選択すると、アラームアラートメッセージが表示されなくなります。

HDMI 1



Checking For Signal

メニュー透明度


メニューの透明度を調整します。


設定
0～90

背景色

メニューの背景色を選びます。

設定					
FUJIFILM (Blue)	FUJIFILM (White)	FUJIFILM (Black)	黒	青	カスタム

 **メモ**

カスタムに設定した場合、工場出荷時は黒になります。独自の背景にするには  [Web制御機能](#) から背景画像をアップロードする必要があります。

リモコン受光部


リモコンで使用する受光部の有効/無効を設定します。
ENTERボタンを押してオプションを表示させ、必要な項目を選びます。

設定	説明
正面	オン / オフ
上部	オン / オフ
背面	オン / オフ
HDBaseT	オン / オフ

プロジェクターID 設定

プロジェクターごとに、IDを設定できます。
ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

設定	説明
----	----

オフ	プロジェクターのIDをオフにします。リモコンのIDにかかわらずリモコンからの操作が可能です。
オン	プロジェクターIDを選択します。リモコンを同じIDに設定する必要があります（  IDナンバーの設定方法 ）。

プロジェクターID

プロジェクターIDを選択します。

設定
00～99

設定後に ENTER ボタンで適用してください。

パネルキーロック

プロジェクター本体の操作キーをロックします。

設定	
オン	オフ

メモ

- 操作パネルのロックを解除するには、セレクターを右に3秒間押します。

バックライト設定

パネルキーとLEDインジケータのバックライト動作とタイムアウト設定を行います。
ENTERボタンを押してオプションを表示させ、必要な項目を選びます。

パネルキー

操作パネルのキーを押したときにバックライトが点灯する長さを選択します。

設定					
オン	オフ	5秒	10秒	20秒	30秒

メモ

- **パネルキー**で**オフ**を選択すると、バックライト機能が無効になり、**オン**を選択すると、プロジェクターの電源がオフになるまで、操作パネルのバックライトが点灯したままとなります。

インジケーター

LEDインジケータを点灯させるタイミングを選択します。

設定		
オン	オフ	警告エラーのみ

セキュリティ設定

セキュリティに関する設定を行います。

ENTERボタンを押してパスワードを変更します。

新規パスワード

1. **ENTER**を押して、新しいパスワードを設定します。
2. パスワードは0～9の数字を組み合わせた4文字で設定します。
3. 確認のため、2度入力が必要です。**ENTER**ボタンを押して確定します。ここで設定したパスワードは、電源ロックをオンにしたときに入力が必要になります。

パスワードの変更

1. **ENTER**ボタンを押して、パスワードを変更します。
2. 現在のパスワードを入力します。
3. 新しいパスワードは、0～9の数字を組み合わせた4文字で設定します。
4. 確認のため、2度入力が必要です。**ENTER**ボタンを押して続行します。

メモ

- 正しいパスワードの入力に3回失敗すると、プロジェクターの使用や初期化ができなくなります。パスワードは紛失しないように注意してください。パスワードを紛失した場合は、お買い上げ店に相談してください。

電源ロック

オンにすると、プロジェクターの電源をオンにした直後に**新規パスワード/パスワードの変更**で設定したパスワードの入力が必要になります。

設定

オン	オフ
----	----

メモ

オンを選択すると、パスワードを入力する画面が表示されます。

オーディオ設定

オーディオに関する設定を行います。
ENTERボタンを押して設定を表示させ、必要な項目を選びます。

ミュート

オンを選ぶとオーディオがミュートされます。

設定	
オン	オフ

音量

音量を調整できます。

設定
0 ～ 50 ～ 100

4K設定

4K設定を有効にするには**オン**にし、無効にするには**オフ**にします。

設定	
オン	オフ

高地対応モード

高地（標高約1500m/4,900フィート以上）でご使用になるときは、**高地対応モード**を**オン**に設定して本機の内部温度が適切に調整されるようにしてください。部品の寿命に影響を及ぼす可能性があります。

設定	
オン	オフ

設定をリセット

選択したメニューのすべての項目を工場出荷時の設定に戻します。
ENTERボタンを押して、リセットするメニューを選び、リセットを実行します。

設定	説明
表示設定	表示 メニューを工場出荷時の設定に戻します。
ピクチャー設定	ピクチャーメニューを工場出荷時の設定に戻します。
ベーシック設定	システム設定：基本 メニューを工場出荷時の設定に戻します。
アドバンス設定	システム設定：詳細 メニューを工場出荷時の設定に戻します。
初期化	すべてのメニュー（表示、ピクチャー、システム設定：基本、システム設定：詳細）の項目をデフォルト値に戻します。 ただし、以下のメニューはリセットされません。 <ul style="list-style-type: none">表示 > レンズ設定システム設定：基本 > セキュリティ設定システム設定：詳細 > 日時設定

メモ

メニューを選択してENTERを押すと、確認画面が表示されます。選択したメニューの項目をデフォルト値に戻すには、リセットを選択します。

システム設定：詳細

システムの詳細な設定を行います。



- ▼ [光源モード](#)
- ▼ [光出力](#)
- ▼ [シャッター設定](#)
- ▼ [操作設定](#)
- ▼ [スタンバイモード](#)
- ▼ [日時設定](#)
- ▼ [スケジュール設定](#)
- ▼ [LAN設定](#)
- ▼ [LAN制御](#)
- ▼ [シリアル設定](#)
- ▼ [ユーザー設定](#)
- ▼ [フィルター設定](#)

光源モード

光源の明るさモードを選びます。

設定	
ノーマル	エコ

光出力

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

光出力設定

光出力を調整します。光源モード が エコ のときは設定できません。

設定
10%~100%

輝度補正

オンを選択すると、さまざまな環境光条件下に合わせて投写映像の画質を最適化します。

設定	
オン	オフ

メモ

輝度補正は、**光出力が50%~80%**の場合のみ利用できます。

シャッター設定

プロジェクターのシャッターに関する設定を行います。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

フェードイン

シャッターボタンを押してから、映像を投写するまでの時間（フェードインの時間）を設定します。

設定										
オフ	0.5秒	1秒	1.5秒	2秒	2.5秒	3秒	3.5秒	4秒	4.5秒	5秒

フェードアウト

シャッターボタンを押してから、映像を消すまでの時間（フェードアウトの時間）を設定します。

設定										
オフ	0.5秒	1秒	1.5秒	2秒	2.5秒	3秒	3.5秒	4秒	4.5秒	5秒

起動

プロジェクターの電源を投入したときのシャッターステータスを選びます。

設定	
オン	オフ

操作設定

タイマーなどを設定します。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

ダイレクト電源オン

オンにすると、電源が供給されたときに主電源スイッチがオンになっていれば、プロジェクターは自動的に（電源ボタンを押さなくても）オンになります。

設定	
オン	オフ

信号検知オートパワーオン

オンにすると、スタンバイ時に入力信号を検出した時に、プロジェクターの電源が自動的にオンになります。

設定	
オン	オフ

オートパワーオフ

一定時間以上に入力信号がなく、本機を操作しないときに、自動的にスタンバイ状態になります。

メモ

本機に内蔵のテストパターンが投写されている場合、この機能は有効になりません。

プロジェクターが自動的にスタンバイ状態に入るまでの時間を選択します。

設定
0~180分

スリープタイマー

スリープタイマーを有効にしてから、自動的にスタンバイ状態になるまでの時間を設定します。

設定
0.0~16.0時間

スタンバイモード

スタンバイモードを選びます。

設定	
スタンバイ	通信

- **スタンバイ**：スタンバイ中は、操作パネル・リモコンとシリアルポートからの電源オンコマンドのみ使用可能です。
- **通信**：スタンバイ中は、操作パネル・リモコンとシリアルポートからのコマンドとLAN制御で有効にした機能が使用できます。

日時設定

日時を設定します。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

クロックモード

クロックモードを選択します。

設定	説明
手動	手動で 日付 と 時間 を入力します。
NTP	日時設定をLAN経由で取得します。 夏時間 、 NTPサーバーIPアドレス 、 タイムゾーン 、 更新間隔 の設定を行います。

メモ

クロックモードをNTPにする場合は、プロジェクターが通信可能なネットワークに、NTPサーバーが必要です。

日付

日付を[MMDDYYYY]の形式で入力します。

時刻

時間を[HH:MM]の形式で入力します。

夏時間

夏時間を有効または無効にします。

設定	
オン	オフ

タイムゾーン

ネットワーク時計モードで適切なタイムゾーンを選択します。

設定
UTC+14:00~UTC+00:00~UTC-12:00

更新間隔

日時を更新する頻度を選びます。

設定	
時間ごと	毎日

適用

確認画面が表示されたら**はい**を選ぶと、日時設定が保存されます。

設定	
はい	いいえ

スケジュール設定

指定した日時にプロジェクターのさまざまな機能をスケジュールします。

ENTERボタンを押してオプションを表示させ、必要な項目を選びます。

スケジュール有効

オンを選ぶと、スケジュールが有効になります。

設定	
オン	オフ

項目							
毎日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

メモ

毎日を選択すると、すべての曜日のスケジュールが設定されます。

1. 曜日を選択すると、選択した曜日のオプションが表示されます。
2. **スケジュール有効**を**オン**に設定します。
3. **イベント01～イベント16**の中からイベントを選び、スケジュールの詳細を設定します。
 - a. イベントの**時間**を設定します。
 - b. **機能**を選びます。機能には、**電源設定**、**入力ソース**、**光源モード**、**シャッター**があります。**オフ**に設定すると、イベントは無効になります。その後、ENTERボタンを押します。
 - c. イベントのタイプを選びます：**イベント[電源設定]** (電源オン、スタンバイ、スタンバイ(通信))、**イベント[入力ソース]** (HDMI 1、HDMI 2、HDBaseT)、**イベント[光源モード]** (標準、エコ)、**イベント[シャッター]** (シャッターオン、シャッターオフ)その後、ENTERボタンを押します。
 - d. イベント設定をデフォルト値にするには、**リセット**を選択し、確認画面で**リセット**を選択します。確認メッセージが表示されたら、**はい**を選択します。
4. その日のすべてのイベントレコードを別の曜日にコピーするには、**イベントのコピー先**を選択して、曜日を選択します。確認メッセージが表示されたら、**はい**を選択します。
5. 1日のイベントレコードをリセットするには、**日付のリセット**を選択し、確認画面で**リセット**を選択します。確認メッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

リセット

スケジュール設定をデフォルト値に戻します。

設定	
キャンセル	リセット

LAN設定

ネットワークに関する設定を行います。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

状態

ネットワークの接続状態を表示します（表示のみ）。

MACアドレス

プロジェクターのMACアドレスを表示します（表示のみ）。

操作チャンネル

プロジェクター制御に使用するLAN端子を選びます。

設定	
LAN	HDBaseT

IPv4設定

IPv4設定を設定します。

項目	説明
DHCP	オン にすると、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用します。 オフ にすると、以下の項目が設定可能となります。
プロジェクターIPアドレス	IPアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトのゲートウェイを設定します。
プライマリDNS	プライマリDNSサーバーのアドレスを設定します。
セカンダリDNS	セカンダリDNSサーバーのアドレスを設定します。
適用	ENTERボタンを押して、変更を適用します。

IPv6設定

IPv6設定を設定します。

項目	説明
DHCP	オン にすると、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用します。 オフ にすると、以下の項目が設定可能となります。
プロジェクターIP アドレス	IPアドレスを設定します。
プリフィックス	プリフィックスを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトのゲートウェイを設定します。
DNS	DNSサーバーのアドレスを入力します。
適用	ENTERボタンを押して、変更を適用します。

LAN制御

LAN制御設定を行います。

項目	説明
----	----

Crestron Connected® V2	オン にすると、Crestronコントローラーと関連ソフトウェアを使ってプロジェクターを制御します。この機能を無効にするには、 オフ を選びます。
Extron® IP LINK	オン にすると、Extron IP LINKデバイスを使ってプロジェクターを制御します。この機能を無効にするには、 オフ を選びます。
PJLink™	オン にすると、PJLinkコマンドを使ってプロジェクターを制御します。この機能を無効にするには、 オフ を選びます。
AMX® Device Discovery	オン にすると、AMXデバイスを使ってプロジェクターを制御します。この機能を無効にするには、 オフ を選びます。
Telnet	オン にすると、Telnet接続経由でRS232コマンドを使用してプロジェクターを制御します。この機能を無効にするには、 オフ を選びます。
HTTP	オン にすると、Webブラウザを使ってプロジェクターを制御します。この機能を無効にするには、 オフ を選びます。

シリアル設定

シリアルポートのボーレートを設定します。

設定				
9600	19200	38400	57600	115200

ユーザー設定

最大5つのカスタマイズ設定を保存できます。

ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。

- メモリを選択**を選び、ENTERを押します。必要に応じて、**メモリ1**から**メモリ5**の中から使用するメモリを選びます。
- 次のいずれかの項目を選びます。
 - **読み込む**: 選択したメモリからユーザー設定を読み込みます。
 - **保存**: 選択したメモリにユーザー設定を保存します。
 - **クリア**: 選択したメモリーレコードの設定をデフォルト値に戻します。
- すべて消去**を選ぶと、すべてのメモリーレコードがデフォルト値にリセットされます。

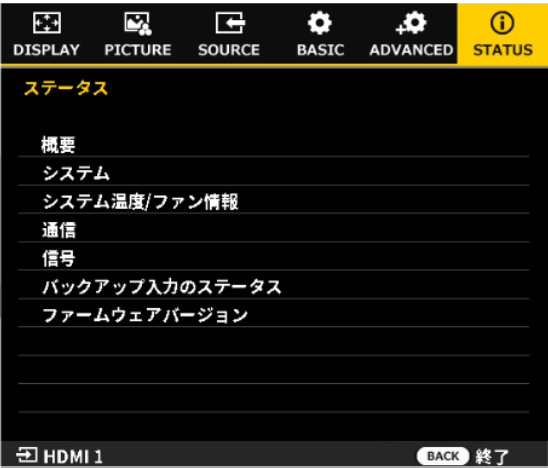
フィルター設定

設定	説明
----	----

フィルター設定	プロジェクターに取り付けたフィルターの使用時間を管理します。 ENTERボタンを押して設定画面を表示させ、必要な項目を選びます。
フィルター使用時間	フィルターの使用時間を表示します（表示のみ）。
フィルター使用リマインダー制限	フィルターの交換メッセージを表示する使用時間を選択します。 設定：4000/3500/3000/2500/2000/1500/1000 時間
フィルター使用時間のリセット	フィルターの使用時間をリセットします。フィルターを交換した際は、実行してください。

ステータス

現在のシステム状態を表示します。



項目	内容
概要	現在のシステム状況、モデル名、シリアル番号、現在の入力信号、解像度、水平・垂直リフレッシュレート、ピクチャーモード、プロジェクターのIPアドレス、光源合計使用時間、プロジェクターID、ファームウェアバージョン、フィルターの取り付け、フィルター使用時間を表示します。
システム	現在のシステム状況、モデル名、シリアル番号、スタンバイモード、ピクチャーモード、4K設定、光源モード、光源使用時間（合計/ノーマル/エコ）、使用時間、レンズモーターロック、フィルターの取り付け、フィルター使用時間を表示します。
システム温度/ファン情報	システムの温度・ファンの回転数などを表示します。
通信	プロジェクタID、ネットワーク情報、操作チャンネル、MACアドレス、IPv4設定（プロジェクターIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリおよびセカンダリDNS）、IPv6設定（プロジェクターのIPアドレス、プリフィックス、デフォルトゲートウェイ、DNS）を表示します。
信号	現在の入力信号、解像度、垂直・水平リフレッシュレート、ピクセルクロック、カラースペースを表示します。
バックアップ入力のステータス	第1および第2入力信号、これら信号の垂直および水平リフレッシュレート、ピクセルクロック、カラースペースを

	表示します。
ファームウェアバージョン	メインバージョン、F-MCU、A-MCU、スケーラー、LAN、フォーマッター、HDBaseTのバージョンを表示します。

主な仕様

仕様

型名		FP-ZUH6000-B、FP-ZUH6000-W	
パネル	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16:9)	
	表示方式	1 チップ DLP® 方式	
	画素数	2,073,600 画素 (1920 x 1080)	
レンズ	タイプ	屈曲型二軸回転機構レンズ	
	レンズシフト	電動 : V (垂直)±82%、H (水平)±35%	
	ズーム	電動 : 1.0倍-1.1倍	
	TR値 *1	0.34 (ワイド側) - 0.37 (テレ側)	
	焦点距離	f=5.0mm (ワイド側) - 5.5mm (テレ側)	
	Fナンバー	F2.3 (ワイド側) - F2.39 (テレ側)	
台形歪補正角度		V (垂直) 最大 ± 5°、H (水平) 最大±5°	
光源		レーザーダイオード	
明るさ (ANSI lm *2)		6,000 lm	
光出力半減時間 *3		約20,000時間	
コントラスト比 *4		12,000 : 1	
投写画像サイズ		70-300型	
スクリーン解像度		4K 3840 x 2160 (4K モードオン時)	
接続端子	映像入力用	HDMI®1	TypeA HDMI®2.0、HDCP 2.2対応
		HDMI®2	TypeA HDMI®2.0、HDCP 2.2対応
		HDBaseT™	RJ-45 映像/音声、最大4096 x 2160 60P入力
	映像出力用	HDMI®	TypeA HDMI®2.0、HDCP 2.2対応

	制御入出力用	LAN	RJ-45 ネットワーク接続用、10Base-T/100Base-TX
		HDBaseT™	RJ-45 プロジェクター制御用
		RS-232C	D-Sub 9Pin プロジェクター制御用
	音声出力用	AUDIO OUT	3.5mmステレオミニジャック
	リモート入力端子	REMOTE	3.5mmステレオミニジャック リモコン(有線)制御用
	その他	USB 1	TypeA DC 5V 1.5A(最大) 給電
USB 2		TypeB メンテナンス用	
電源		AC 100-120V, AC 220-240V 50/60Hz	
消費電力	最大	650W	
	光源モード:ノーマル時	560W	
	光源モード:エコモード時	285W	
	スタンバイ時	約0.5W	
	ネットワークスタンバイ時	約8.0W	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		486 x 496 x 175mm (調整脚、突起部除く)	
質量		約 17.5 kg	
騒音*5	光源モード:ノーマル時	Typical 36dB、最大 38dB	
	光源モード:エコモード時	Typical 34dB、最大 36dB	
使用環境	動作温度	0-40℃	
	動作湿度	10-85% (結露なきこと)	
	保存温度	-20-60℃	
付属品		電源ケーブル (3.0 m)	
		レンズキャップ	
		リモコン	
		単 4 型乾電池 (2 個)	
		簡易説明書	

*1 TR(Throw Ratio)値は、投写距離÷スクリーン横サイズで算出されます。

*2 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、ANSIに基づいた規格にて記載しています。

*3 明るさが半減するまでの目安時間です、使用条件や使用環境によって目安時間は変動します。

*4 「ダイナミックブラック」をオンに設定した時の値を示しています。

*5 騒音測定はISO 7779に準拠しています。

対応解像度一覧

プロジェクターのパネル解像度より大きな解像度の信号を入力したときは、画質が低下する場合があります。

入力信号仕様					HDMI1&2 , HDBaseT						
信号タイプ	信号フォーマット	解像度	アスペクト比	垂直周波数 (Hz)	RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8 bit	10 bit	12 bit	8 bit	10 bit	12 bit	8 bit
PC	VGA	640x480	04:03	60	V	V	V	V	V	V	V
	SVGA	800x600	04:03	60	V	V	V	V	V	V	V
	XGA	1024x768	04:03	60	V	V	V	V	V	V	V
	WXGA	1280x768	15:09	60	V	V	V	V	V	V	V
	WXGA	1280x800	16:10	60	V	V	V	V	V	V	V
	SXGA-	1280x960	04:03	60	V	V	V	V	V	V	V
	SXGA	1280x1024	05:04	60	V	V	V	V	V	V	V
	WXGA	1360x768	16:09	60	V	V	V	V	V	V	V
	FWXGA	1366x768	16:09	60	V	V	V	V	V	V	V
	WXGA+	1440x900	16:10	60	V	V	V	V	V	V	V
	HD+	1600x900	16:09	60	V	V	V	V	V	V	V
	UXGA	1600x1200	04:03	60	V	V	V	V	V	V	V
	WSXGA+	1680x1050	16:10	60	V	V	V	V	V	V	V
	WUXGA	1920X1200	16:10	60	V	V	V	V	V	V	V
	UWFHD	2560x1080	21 : 09	24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V

Video	EDTV (480p)	720X480	03 : 02	59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
	EDTV (576p)	720X576	05:04	50	V	V	V	V	V	V	V
	HDTV (720p)	1280x720	16:09	50	V	V	V	V	V	V	V
				59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
				120	V	V	V	V	V	V	V
	HDTV (1080p)	1920x1080	16:09	23.98	V	V	V	V	V	V	V
				24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				29.97	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	V	V	V	V	V	V
				59.94	V	V	V	V	V	V	V
				60	V	V	V	V	V	V	V
4K	4K UHD (2160p)	3840x2160	16:09	24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	-	-	V	-	-	V
				60	V	-	-	V	-	-	V
	4K x 2K	4096x2160	19:10	24	V	V	V	V	V	V	V
				25	V	V	V	V	V	V	V
				30	V	V	V	V	V	V	V
				50	V	-	-	V	-	-	V
				60	V	-	-	V	-	-	V
High Frame Rate	1080p	1920x1080	16:09	120	V	V	V	V	V	V	V
				240	V	-	-	-	-	-	-

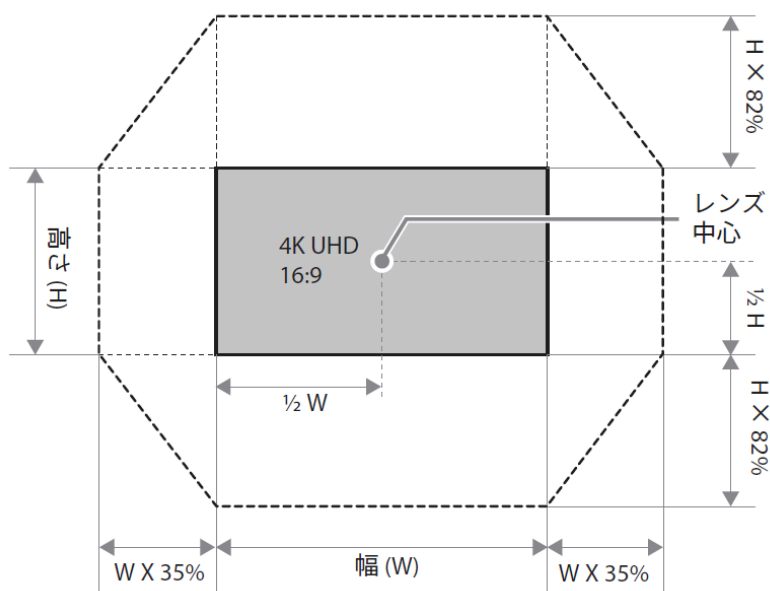
投写距離一覧

▼ レンズシフト範囲と投写距離

▼ 投写距離

レンズシフト範囲と投写距離

レンズシフト範囲

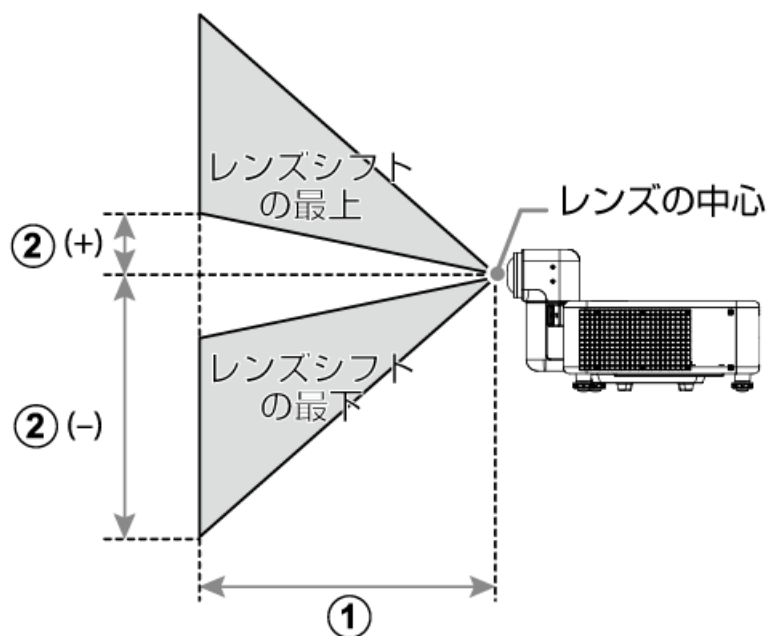


投写距離

横置き of 投写距離

投写距離は弊社ホームページにて、より詳細な投写シミュレートが可能なツールを用意しておりますので、あわせてご活用ください。

<https://optics.fujifilm.com/projector/simulator/zuh6000/>



- ① 投写距離 最短：ワイドー 最長：テレ (cm)
- ② レンズの中心からスクリーンの下端までの高さ (cm)

横投写距離表

16 : 9スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅×高さ (cm)		
70	155 × 87	52 – 57	-115 – +28
80	177 × 100	59 – 65	-131 – +32
90	199 × 112	67 – 74	-148 – +36
100	221 × 125	75 – 82	-164 – +40
120	266 × 149	90 – 99	-197 – +48
150	332 × 187	113 – 124	-247 – +60
180	398 × 224	135 – 149	-296 – +72
200	443 × 249	151 – 166	-329 – +80
250	553 × 311	189 – 208	-411 – +100
300	664 × 374	227 – 250	-493 – +120

16 : 10スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅×高さ (cm)		
70	151 × 94	56 – 62	-124 – +30

80	172 × 108	64 − 71	-142 − +34
90	194 × 121	72 − 80	-160 − +39
100	215 × 135	81 − 89	-178 − +43
120	258 × 162	97 − 107	-213 − +52
150	323 × 202	122 − 134	-267 − +65
180	388 × 242	147 − 161	-320 − +78
200	431 × 269	163 − 179	-355 − +86
250	538 × 337	204 − 225	-444 − +108
300	646 × 404	245 − 270	-533 − +129

4 : 3スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
60	122 × 91	54 − 60	-121 − +29
70	142 × 107	64 − 70	-141 − +34
80	163 × 122	73 − 80	-161 − +39
90	183 × 137	82 − 91	-181 − +44
100	203 × 152	92 − 101	-201 − +49
120	244 × 183	110 − 121	-241 − +59
150	305 × 229	138 − 152	-302 − +73
180	366 × 274	166 − 183	-362 − +88
200	406 × 305	185 − 203	-402 − +98
240	488 × 366	222 − 244	-483 − +117

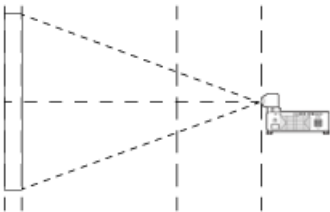
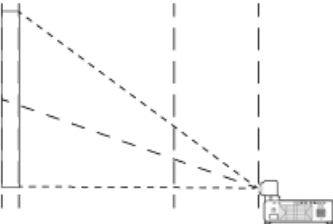
 メモ

近似計算のため上記表と数%の誤差があります。

幾何学歪補正範囲

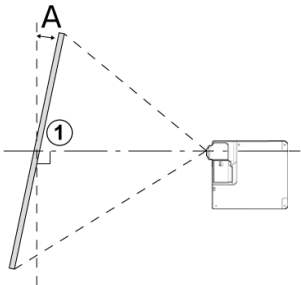
メモ

数値は近似計算のため数%の差があります。

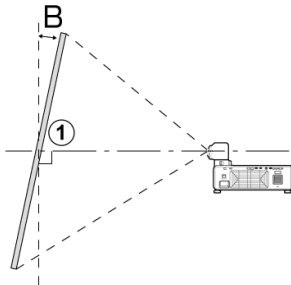
レンズシフト位置	台形補正 *1	
	(1) 水平 台形	(2) 垂直 台形
	A補正角度	B補正角度
V（垂直）±0%、H（水平）±0% 	±5°	±5°
V（垂直）+50%、H（水平）+0% 	—	—

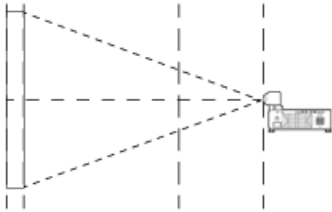
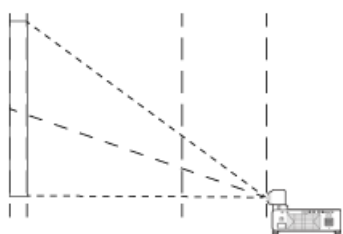
*1 本体メニュー「キーストーン」機能を使った場合の台形歪補正角度です。

(1) 水平 台形補正
[真上から見た図]

① スクリーン


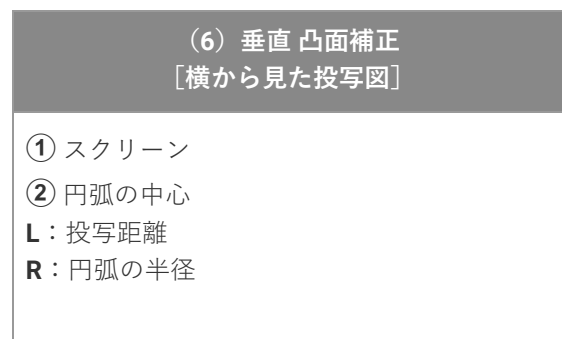
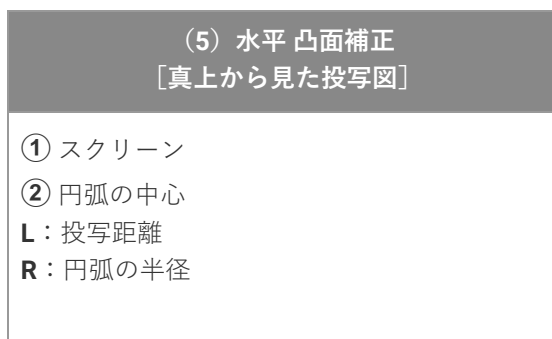
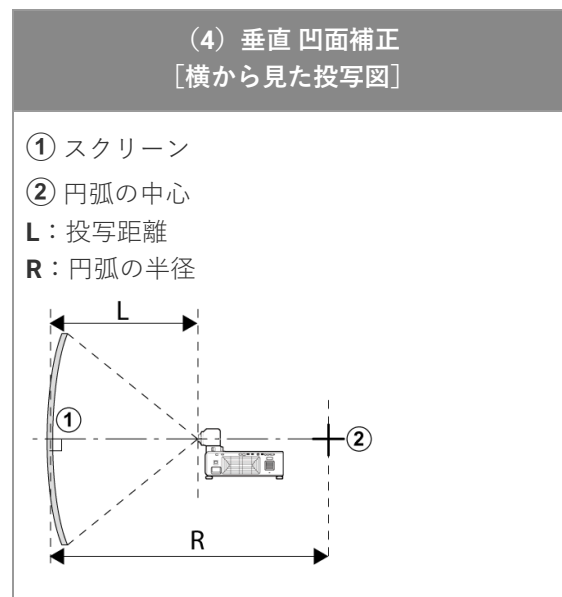
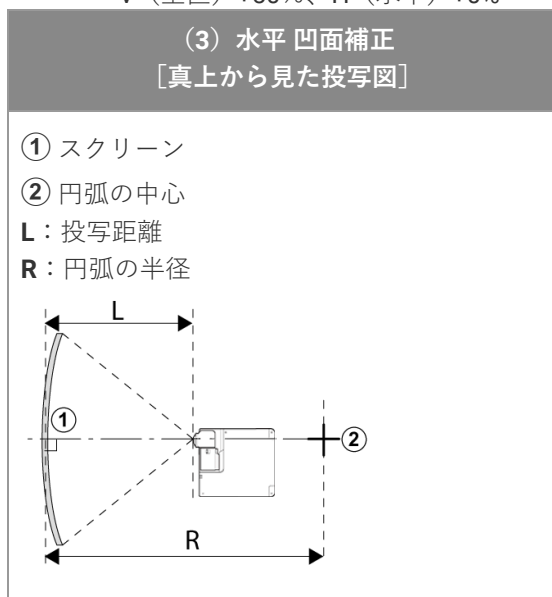
(2) 垂直 台形補正
[横から見た図]

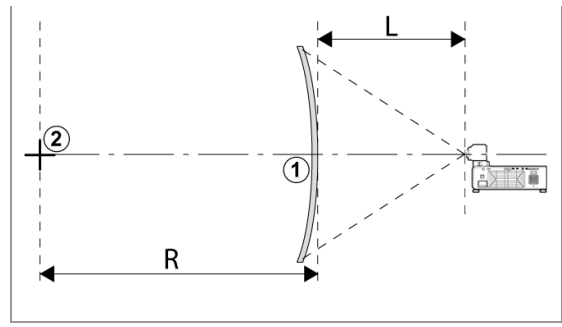
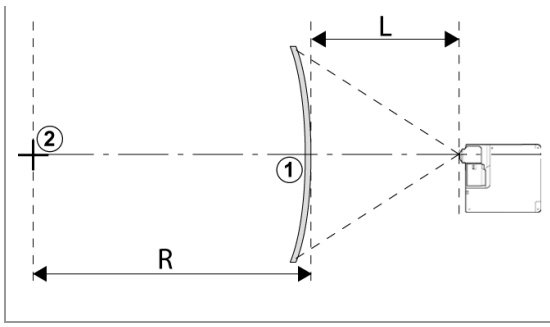
① スクリーン


	曲面スクリーン補正 ^{*2} (R/L最小値)			
レンズシフト位置	(3) 水平 凹面	(4) 垂直 凹面	(5) 水平 凸面	(6) 垂直 凸面
V (垂直) $\pm 0\%$ 、H (水平) $\pm 0\%$ 	1.10	0.73	4.83	1.86
V (垂直) $+50\%$ 、H (水平) $+0\%$ 	2.69	1.38	4.83	3.11

^{*2} PCソフトウェア「Warping and Blending Tool」のWarping機能を使った場合の幾何学歪補正範囲です (FP-ZUH6000のみ)。補正量が大きくなるとフォーカス調整が合わない場合があります。

V (垂直) $+50\%$ 、H (水平) $+0\%$





PJLinkコマンド

このプロジェクターは、JBMIAで策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。

PJLinkプロトコルを使用してPCからプロジェクターの設定や、プロジェクターの状態問合せの操作ができます。

- PJLinkを使用するには、事前にネットワークの設定が必要です。
- PJLinkに関する仕様については、こちらをご参照ください。

<https://pjlink.jbmia.or.jp/>

プロジェクター制御

コントロール端子やLAN 端子を通してコマンドを送ることでプロジェクターを制御することができます。

コントロール端子

項目	RS-232C	HDBaseT		LAN
		RS-232C	LAN	
接続ケーブル	Dsub9	RJ45（カテゴリー5e以上）		RJ45
通信モード	RS-232C 非同期、半二重通信		TCP：ポート3023	
ボーレート	9600 - 115200	115200	-	
文字長	8 ビット		-	
パリティチェック	なし		-	
ストップビット	1 ビット		-	
フロー制御	なし		-	

制御コマンド

Write Command

■ Type-1

[X	X	X	X	n]
Prefix	Command				0~999	Suffix

■ Type-2

[X	X	X	X	n	+	X	X	X	X	n]
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

Prefix	Command	0~999	+	Sub Command	0~999	Suffix
--------	---------	-------	---	-------------	-------	--------

メモ

エラー時には以下の応答が返されます。

- 不明なコマンドの場合
[ERR "00000 XXXX: Control Not Found"]
- 不明なパラメータの場合
[ERR "00000 XXXX: Invalid Value"]
- コマンド実行不可時
[ERR "00000 XXXX: Disabled Control"]

Read Command

[X	X	X	X	?]
Prefix	Command				Inquiry code	Suffix

Response Format

[X	X	X	X	!	n]
Prefix	Command				Separator	0-999	Suffix

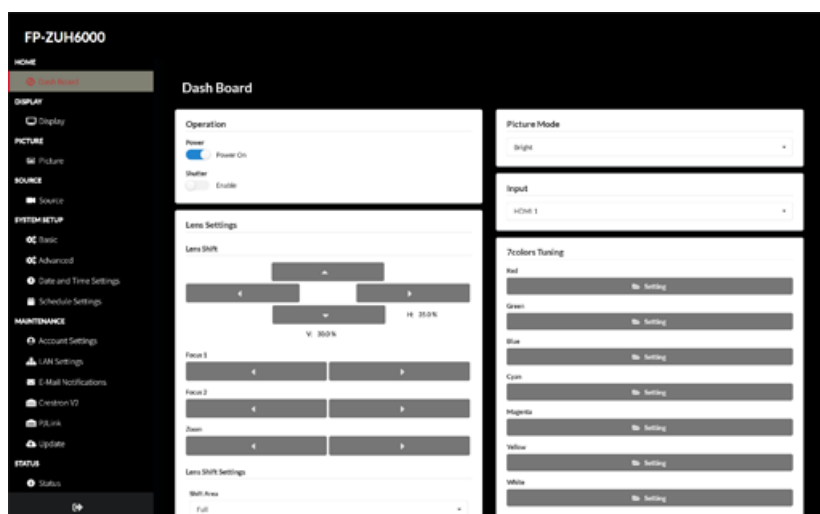
コマンド一覧

👈 [FP-ZUH6000制御コマンド一覧](#)

Web制御

Webブラウザを使用してネットワークに接続された本機の状態監視や制御を行うことができます。

- ▼ Web制御機能とは
- ▼ Web制御機能の使い方
- ▼ Web制御のみの機能



Web制御機能とは

Web制御機能を使用して、PCから以下の操作が実行できます。

- プロジェクターの設定と調整
 - プロジェクターの設定値の退避と復元
 - プロジェクターの状態の監視
 - プロジェクター異常時のメール送信
- ※メール送信機能を使用するには、プロジェクターが通信可能なネットワークに、メールサーバが必要です。

Web制御機能の使い方

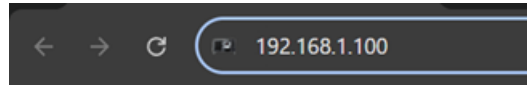
Web制御機能の準備

Web制御機能を使用するには、以下の設定が必要となります。また、PCとプロジェクターが通信可能なネットワークに接続されている必要があります。

- プロジェクターとPCが通信可能のように👉LAN設定を行います。
- プロジェクターがスタンバイ状態でも使用する場合は👉スタンバイモードを通信にします。
- プロジェクターの👉LAN制御でHTTPを有効にします。

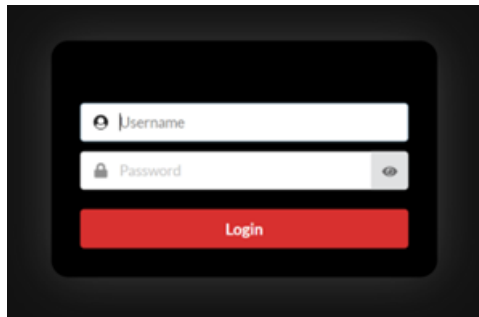
Web制御機能へのアクセス

- 1** Webブラウザのアドレスバーに、プロジェクターに設定したIPアドレスを入力します。



- 2** ログイン画面で、ユーザー名・パスワードを入力します。
- ユーザー名は、初期設定では以下の2種類が設定されています。
初期状態ではパスワードはありません。

admin	Web制御のすべての機能が利用できます。
user	Web制御の機能のうち基本的な操作が可能です。



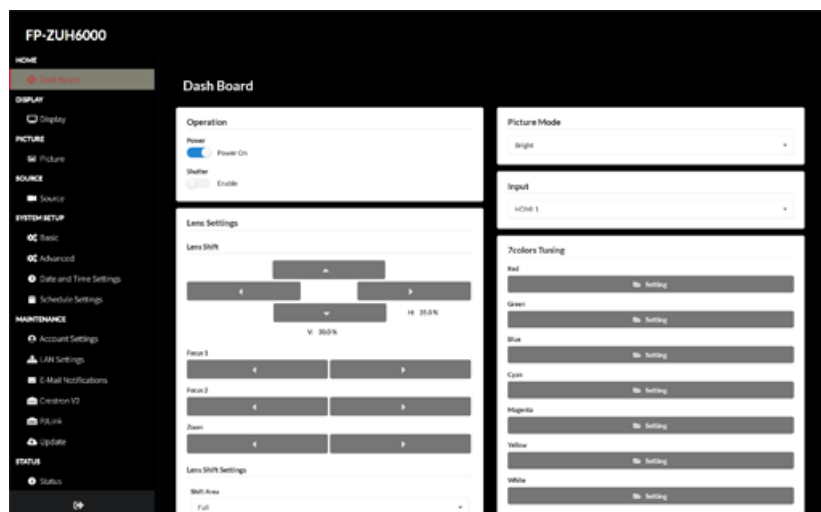
- 3** 初めてログインした場合は、パスワードを設定する画面が表示されます。
- 設定するパスワードを2回入力してSAVEボタンを押します。
再度ログイン画面が表示されますので、ユーザー名・設定したパスワードを入力してください。

A screenshot of a 'Create Password' form. At the top, it says 'Create Password'. Below that, a red message states: 'You must create a new password and you need to login again. Up to 20 or at least 4 with any combination of numeric, English or special character.' There are two input fields: 'New Password' and 'Repeat New Password', each with a strength indicator icon. A 'Save' button is at the bottom right.

⚠ 注意

設定したパスワードは、メニュー画面の👉 **システム設定：基本/設定をリセット/初期化** を実行すると消去されます。

4 ログインに成功すると、Web制御画面が表示されます。



Web制御のみの機能

カスタムEDIDのアップロード

ナビゲーションメニュー SOURCE下のSourceを選択します。

EDID SettingsにあるUploadを選択し、カスタムEDIDファイルをアップロードします。

メモ

アップロードするファイルは、EDID Block0/Block1(256byte)のデータです。

カスタム背景色のアップロード

ナビゲーションメニュー SYSTEM SETUP下のBasicを選択します。

Background ColorにあるUploadを選択し、ファイルをアップロードします。

アップロード可能なファイルは、3840×2160のPNGファイルです。

設定値の退避・復元

ナビゲーションメニュー SYSTEM SETUP下のAdvanceを選択します。

退避する場合は、User SettingsにあるBackupを選択し、設定ファイルをダウンロードします。

復元する場合は、User SettingsにあるRestoreを選択し、Backupでダウンロードした設定ファイルをアップロードします。

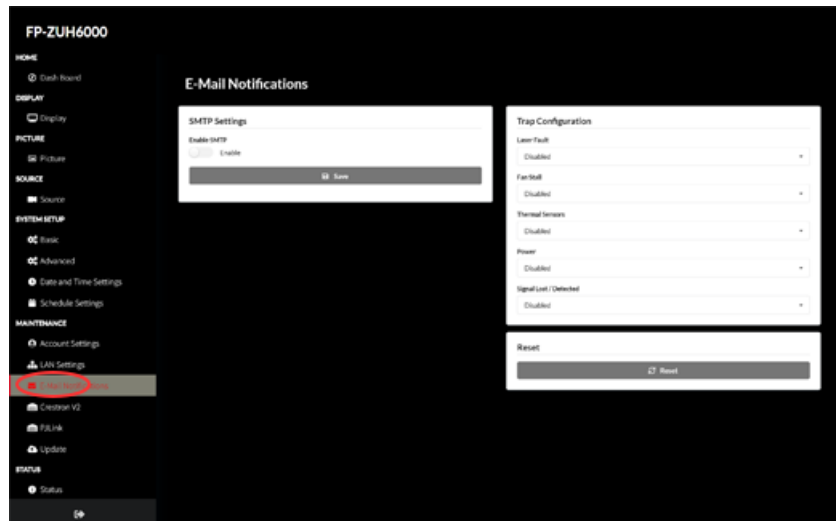
メール通知機能

ナビゲーションメニュー MAINTENANCE下のE-Mail Notificationsを選択します。

画面にある通知に必要な設定値を入力します。

プロジェクターが通信可能なネットワークに、メールサーバが必要です。

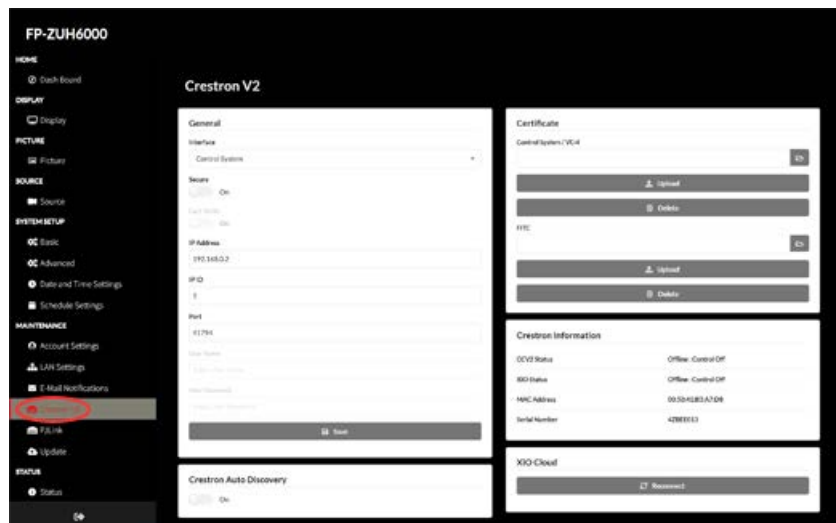
設定の詳細はメールサーバの管理者にお問い合わせください。



Crestron Connected®設定

ナビゲーションメニュー MAINTENANCE下のCrestron® V2を選択します。

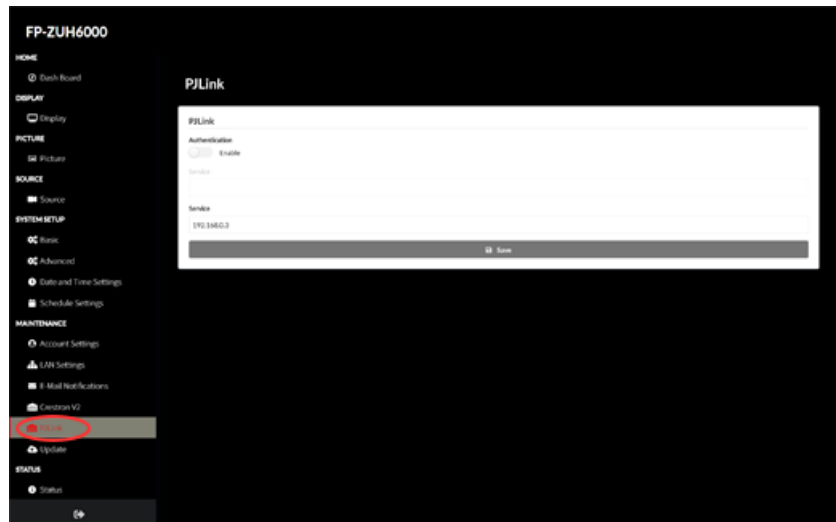
必要な設定値を入力します。



PJLink™設定

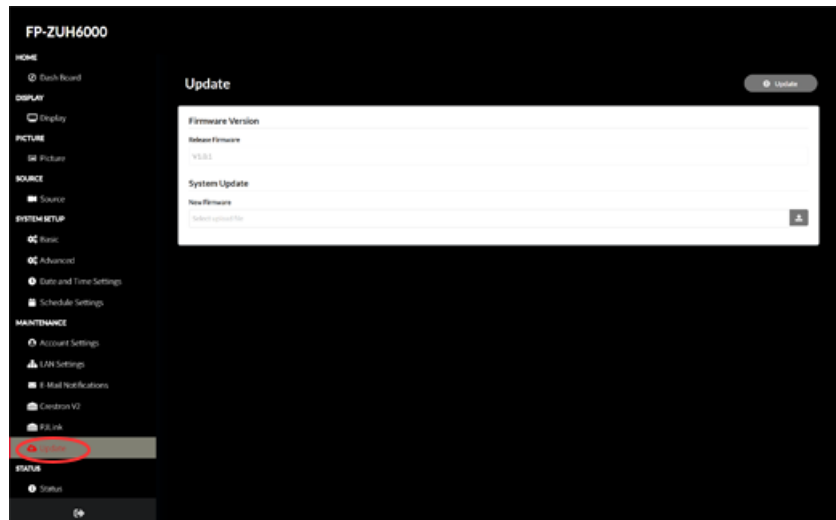
ナビゲーションメニュー MAINTENANCE下のPJLink™を選択します。

必要な設定値を入力します。

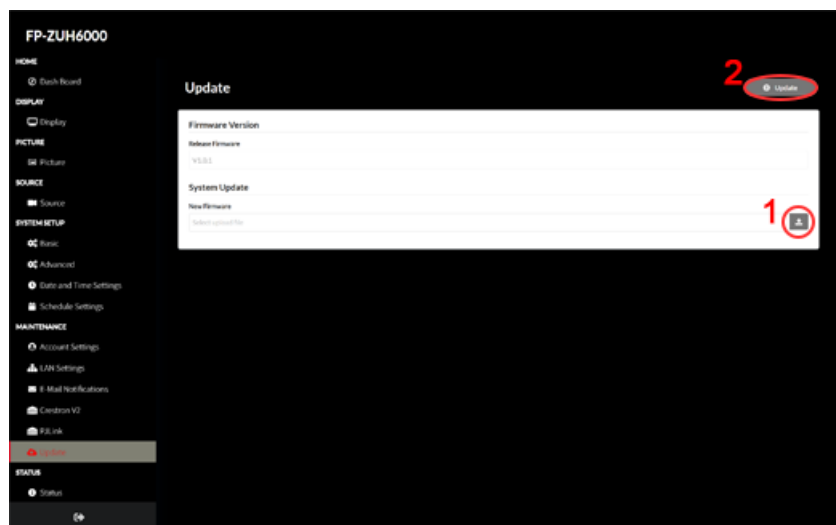


ファームウェアのアップデート

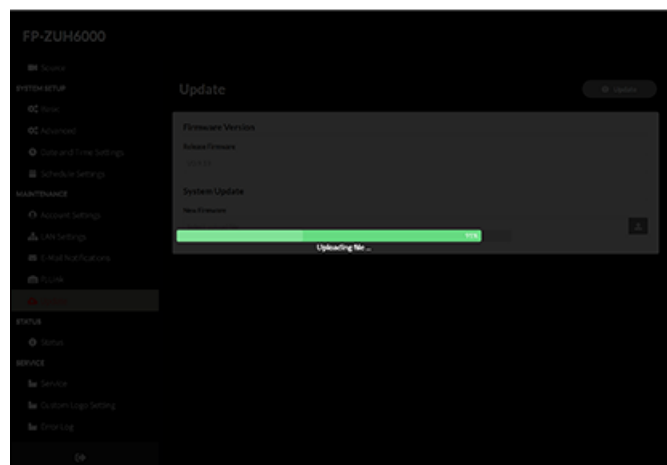
- 1 ナビゲーションメニュー MAINTENANCE下のUpdateを選択します。



- 2 ダウンロードしたファームウェアファイルを指定して、右上のUpdateボタンを押します。



3 ファームウェア更新の確認画面が表示されますので、Yesボタンを押します。



4 ファームウェアの更新が成功すると、プロジェクターが自動で再起動します。

⚠ 注意

ファームウェアの更新には、最大で20分かかります。ファームウェアの更新中は、メニュー操作は行わないでください。

また、本体の電源は絶対に切断しないでください。

商標

- PJLink™ 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- HDBaseT™、HDBaseT™ ロゴは、HDBaseT Allianceの日本国およびその他国における商標です。
- DLP®、DLP® ロゴはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。
- HDMI®は、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected® およびCrestron connected® ロゴは、米国Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMX®は、米国Harman Professional, Inc.の登録商標です。
- Extron®は、RGB Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。